

No. |

メキシコ合衆国  
電子分野における研究・教育手法の開発

終了時評価調査報告書

JICA LIBRARY



1179854【3】

2005年3月

アイ・シー・ネット株式会社

独立行政法人国際協力機構

メキ事
J R
05-06

メキシコ合衆国  
電子分野における研究・教育手法の開発

終了時評価調査報告書

2005年3月

アイ・シー・ネット株式会社

独立行政法人国際協力機構

メキ事

J R

05-06



1179854{3}

評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：メキシコ合衆国	案件名：メキシコ国電子分野における研究・教育手法の開発
分野：中小企業振興	援助形態：技術プロジェクト
所轄部署：中南米部中米・カリブチーム	協力金額（評価時点）：20,375千円
協力期間	(R/D): 2003年11月1日 ～2004年4月1日
	先方関係機関：職業訓練研究開発センター(Centro de Investigación y Desarrollo de la Formación para el Trabajo: CIDFORT)
	(延長): (F/U): (E/N) (無償)
	日本側協力機関：なし 他の関連協力：なし
1-1 協力の背景と概要	
<p>教育省(Secretaría de Educación Pública: SEP)技術教育研究次局(Subsecretaría de Educación e Investigación Tecnológicas: SEIT) 職業訓練センター総局(Dirección General de Centro de Formación para el Trabajo: DGCFT)傘下の国立職業訓練センター(Centros de Capacitación para el Trabajo Industrial: CECATI)は、現状のニーズに対応して企業人育成へのカリキュラムのシフトが迫られている。現状に適したカリキュラムに沿った教育システムや教育技法の開発が不可欠になっているが、そのために職業訓練研究開発センター(Centro de Investigación y Desarrollo de la Formación para el Trabajo: CIDFORT)が2000年11月に設置された。CIDFORTの指導員の大半は職人で指導の経験が浅く、指導員・教官としての能力が不足している。技術協力プロジェクト「メキシコ国電子分野における研究・教育手法の開発プロジェクト」は、上述の状況の下、CECATI指導員の教材作成および開発能力向上を目標として、2003年11月1日～2004年4月1日の間実施された。</p>	
1-2 協力内容	
(1) 上位目標	
新しい技術の使用を通して職業訓練校が提供するサービスの質を改善する。	
(2) プロジェクト目標	
新しい電子技術 (Macromedia、Pinnacle、MsProducerなどの図表や動画作成ソフト)の使用を通して、職業訓練校指導員の教材作成能力が向上する。	
(3) 成果	
1. 研修のためのCIDFORTの施設が整備される。	
2. 遠隔研修のためのシステムが改善される。	
3. CECATIの指導員に対する研修のための教材が作成される。	
4. 職業訓練校の指導員が研修を実施するための指導員研修を実施する。	
(4) 投入 (評価時点)	
日本側：	
長期専門家派遣： 1名      機材供与： 約1,300万円	
短期専門家派遣： 0名	
研修員受入： 0名	
相手国側：	
カウンターパート配置： 計6名	
土地・施設提供： プロジェクト事務所、研修施設、	
ローカルコスト負担：	
その他	
2. 評価調査団の概要	

調査者	(担当分野：氏名 職位)	
	和田 泰志	アイ・シー・ネット株式会社 ラテンアメリカ事務所長
	朝倉 麻耶	アイ・シー・ネット株式会社 アシスタントコンサルタント
	渡辺 知子	アイ・シー・ネット株式会社 アシスタントコンサルタント
	安藤 孝之	JICA メキシコ事務所 次長
調査期間	2005年2月4日	評価種類：終了時評価
3. 評価結果の概要		
3-1 実績の確認		
(1) 成果1の達成度		
<p>プロジェクト実施期間終了時点(2004年4月)において、機材投入の実施は達成されたものの、機材設置が完了し研修スペースの準備が整ったのは2004年7月であった。なお、メキシコ国側からは、CIDFORT に対しコンピューター設備、ネットワーク設備、写真機材設備、ビデオ機材設備等が投入され、2004年3月に設置完了を完了している。時期の遅れがあったものの、CIDFORT における教材作成および開発能力向上のための研修スペースは確保された。</p>		
(2) 成果2の達成度		
<p>終了時評価調査時点ではこの機材を活用した教材作成のための研修はまだ実施されていなかったが、今後、上記機材が設置されたセンターの指導員を CIDFORT に集め、機材活用のための研修を実施する予定があるとのことである。加えて他の遠隔地域の拠点となるセンターにも遠隔研修用の機材を設置する予定がある。2005年4月以降、機材が設置されたセンターからこれらの機材を使用して教材作成のための研修を開始し、2005年11月までにプロジェクト目標である「4センター80名に対する設置機材を使用した研修の実施」が達成できるよう計画している。</p>		
(3) 成果3の達成度		
<p>終了時評価調査時点までに、CECATI 指導員に対する研修のための教材が4個(WEB用教材作成方法用、Flash Mx 活用用、スライド作成方法用、デジタルカメラとデジタルビデオの活用方法用)作成された。目標の教材数は4個であり目標を達成している。</p>		
(4) 成果4の達成度		
<p>終了時評価調査時点で教材作成のための研修は4タイプ計9回実施され、合計151名のCECATI指導員がこれらの研修を受講した。目標受講者数は120名であり、実績は目標以上を達成している。</p>		
(5) プロジェクト目標		
<p>2005年1月までに151名の指導員が研修コースを受講し、うち108名が終了時試験に合格している。合格した指導員の割合は71.50%であり、プロジェクト目標値の80%にわずかに及ばなかった。もうひとつのプロジェクト目標の指標は、プロジェクトを通して5つの教材が使用可能なレベルになっていることであった。この指標目標に対し、終了時評価調査時点(2005年1月)で20個の教材が活用可能なレベルに到達しており、プロジェクト目標は達成されている。これらの教材はCDの形で完成されており、できるだけ広範囲かつ経済的な方法で普及するためにインターネットでの配布を検討している。</p>		
3-2 評価結果の要約		
(1) 妥当性		
1) 上位目標の妥当性		
<p>メキシコ国は、中小企業の育成を重点目標としており、更に、我が国はメキシコ国における援助重点分野の一つに「産業開発と地域振興」を取り上げ、その中で取り組むべきプログラムとして「職業技術教育支援」をあげていることから、「先端技術の活用によりCECATIが提供する教育サービスの質が向上する」とした上位目標の妥当性は確保されている。</p>		
2) プロジェクト目標の妥当性		
① 上位目標との整合性		
<p>プロジェクト目標が達成されることにより指導員の訓練指導能力全般が向上し、指導員が作成し</p>		

た教材を普及・活用することにより、均一化された訓練指導が実施できるようになる。これにより上位目標が達成されると考えられることから、プロジェクト目標と上位目標の整合性は確保されている。

#### ② 実施機関の組織的ニーズとの整合性

先端技術を活用した教材が作成され、遠隔研修システムが整備されることにより、全国に存在する CECATI に均一化された訓練指導が実施できるようになることから、CECATI 指導員の技術訓練指導能力の向上という組織的ニーズにプロジェクト目標は適合している。

#### (2) 有効性

合格者の割合に関しては、71.50%であり、プロジェクトの目標値である 80%には約 1 割達しなかったものの、活用可能なレベルに達した教材数は 20 個と、目標値の 5 個を大幅に超えており、「CECATI 指導員の先端技術を活用した教材作成能力が向上する」というプロジェクト目標は[Y3]ほぼ達成されたと評価できる。

#### (3) 効率性

専門家派遣に関しては、インタビュー結果から投入時期、専門分野ともに適切であったと判断できる。供与機材の利用状況と維持管理は良好である。遠隔研修のための機材が一部活用されていない点が指摘されたが、これは機材自体にはではなくインターネット環境に問題があるためである。現在インターネット環境の早期整備を目指している。

#### (4) インパクト

本プロジェクトによる機材の設置によって CECATI 指導員に対する先端技術を活用した教材作成のための研修が可能となり、計 151 名が研修を受けた。また、CIDFORT における先端技術を使った教材作成の研修活動に対し、CIDFORT 以外の機関から関心が寄せられ、州政府からも高い関心が示されている。更に、供与されたテレビ会議システムの機材によって、他の国々とのコミュニケーションがより容易となり、将来的に他の中南米の国々と協力して WEB のための教材作成の実施を計画しているという効果も現われている。研修に必要な機材とそれを活用する指導員の能力が向上しており、それは上位目標である CECATI のサービス向上に寄与すると考えられる。

#### (5) 自立発展性

2006 年以降の人員配置が未定であるなど、組織的・制度的面で多少の不安な点があるものの、財政面では 2008 年までの予算配分が決まっており、また独自の収入源も確保していることから自立発展性は高いと言える。更に、CIDFORT のカウンターパートも今回導入された機材を活用して、今後活動を継続していけると答えており、技術的な面での自立発展性も高い。

### 3-3 効果発現に貢献した要因

#### (1) 計画内容に関すること

プロジェクト開始以前に個別専門家が派遣されており、先方組織の位置づけや機能、ニーズが的確に把握されていた。そのため計画内容は現状やニーズに合致しており、プロジェクト実施の効果の発現を促進した。

#### (2) 実施プロセスに関すること

先に述べたように、プロジェクト実施前に派遣されていた専門家が継続する形でプロジェクトに派遣されている。そのため、通常必要とされるプロジェクト開始直後の準備期間（カウンターパートとの調整や人間関係の構築、ニーズの確認、ベースラインの確認など）が必要なかった。このプロジェクトはプロジェクト期間が 5 ヶ月間とかなり短いプロジェクトだが、実質的なロスがなかったことは、実施プロセスを効率的に進めることに大きく貢献した。

### 3-4 問題点及び問題を惹起した要因

#### (1) 計画内容に関すること

このプロジェクトは個別専門家の派遣では実現できない機材供与を実施することを目的とした技

術プロジェクトである。このような特殊な背景から、プロジェクトの枠組み (PDM) が作成されておらず、またプロジェクトの進捗管理に不可欠な指標の設定も行われていなかった(終了時評価に際し、C/P とプロジェクト実施機関に遡り設定)。これは効率的なプロジェクトの運営を阻害する要因となっていた。

#### (2) 実施プロセスに関すること

プロジェクト自体の枠組みは形成されていなかったが、CIDFORT は独自の活動計画を作成しており、その計画に沿って供与機材を活用していた。そのため実施プロセスにおいて特に大きな障害は生じなかった。

### 3-5 結論

終了時評価調査時点での研修受講者数は全国に約3,500人いる CECATI 指導員のうち151人のみとなっているが、プロジェクトの実施を通して研修を実施する CIDFORT の指導員の能力も向上していること、研修機材が整備され、また今後遠隔研修のための設備・技術も整備されつつあり、施設環境整備も進んだ。これによる受講者数の増加も期待できる。このことから新しい技術を使った教材作成能力の向上というプロジェクトの当初の目的は達成されたと考えてよい。

### 3-6 提言

#### (1) カスケード方式を利用して効率的に指導員を養成する。

CECATI の指導員は全国でおよそ3,500名と総数が大きい。まず核となる指導員を養成し、その指導員が他の指導員に研修を実施するシステムを構築すれば効率的な指導員養成が可能になる。

#### (2) 自己収入を主要な機材更新にあてる。

政策の変更によって公的機関の予算配分が大きく変わるケースは多い。CIDFORT が本来の役割を安定して確保していくためには、人的資源の確保と業務に必要な資機材の確保が欠かせない。特に電子機器は耐用年数が短く機材自体の技術革新も激しい。これらの資機材の更新をできる限り独自の財源によってまかなうことが、継続的な CIDFORT の機能の上で重要である。

#### (3) モニタリングシステムを構築し、効果的なプロジェクトマネジメントを実現する

本プロジェクトには PDM がなく、明確なプロジェクト目標も、その達成度を判定する指標も設定されないままプロジェクトが開始されている。それは本プロジェクト形成の特殊な背景に由来するが、この機会にプロジェクトの枠組みを明確にし、モニタリングシステムを構築して、より効果的なプロジェクトの運営を実現する仕組みを作成することが望ましい。

### 3-7 教訓

このプロジェクトでは、プロジェクト開始以前に長期専門家が派遣されている。終了時評価で調査した資機材の使用状況を見ると、専門家の派遣によって派遣先である CIDFORT の役割やニーズが的確に判断できていたことがうかがえる。本件のようにまず個別専門家を派遣して、派遣先の機能とニーズを明確に把握した上で技術プロジェクトを形成することは、特に効率性の観点から重要である。

また、このプロジェクトでは CIDFORT の活動が評価され、それが州政府の支援へとつながった。プロジェクトの成果を広報するチャンネルを構築し、プロジェクトの存在意義をアピールすることは、プロジェクトの効率性を高めるだけでなく、プロジェクト終了後の継続性を確保するためにも重要である。外に向けた広報活動は他のプロジェクトでも積極的に取り組んでいくべきである。

### 3-8 フォローアップ状況

該当なし

Overview of Evaluation Study Results

1. Project Summary	
Country: United Mexican States	Project Name: Development of Research and Educational Methods in Mexico's Electronics Sector
Field: Revitalization of small and medium-sized companies	Type of Aid: Technical project
Section in Charge: Central America and Caribbean team, Central and South America Department	Cooperation amount (at time of evaluation): 20,375,000 yen
Cooperation period	(R/D): November 1, 2003 – April 1, 2004
	Beneficiary country's related institutions: Centro de Investigación y Desarrollo de la Formación para el Trabajo (CIDFORT)
	Cooperating organization for Japan side: none
	Other related cooperation: none
(Extension):	
(F/U):	
(E/N) (free of charge)	
<p>1 - 1 Background and Overview of the Cooperation</p> <p>The National Job Training Center (Centros de Capacitación para el Trabajo Industrial: CECATI), under the jurisdiction of the Center for Job Training (Dirección General de Centro de Formación para el Trabajo: DGCFT) of the Ministry of Education's (Secretaría de Educación Pública: SEP) Technology Education and Research Subsecretariat (Subsecretaría de Educación e Investigación Tecnológicas: SEIT), is under pressure to transition to a curriculum that would meet the current need to train company employees. It is essential that an educational system and educational techniques conforming with a curriculum appropriate for current conditions be developed, and for that purpose the Job Training Research and Development Center (Centro de Investigación y Desarrollo de la Formación para el Trabajo: CIDFORT) was established in November 2000. The majority of CIDFORT instructors have little experience in training workers, and their skills as instructors and teachers are inadequate. The technical cooperation project "Development of Research and Educational Methods in Mexico's Electronics Sector" was carried out from November 1, 2003 to April 1, 2004 with the objective of preparing educational materials for CECATI instructors and improving their development skills under the aforementioned conditions.</p> <p>1 - 2 Description of the Cooperation</p> <p>(1) Overall Goal</p> <p>To improve the quality of the services provided at job training schools through the use of new technology.</p> <p>(2) Project Goal</p> <p>To improve the skills of job training school instructors in preparing educational materials by using new electronic technology (software for creating charts and graphics such as Macromedia, Pinnacle, MsProducer).</p> <p>(3) Output</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. CIDFORT facilities will be established for the purpose of training.</li> <li>2. The system for distance learning will be improved.</li> <li>3. Educational materials to train CECATI instructors will be prepared.</li> <li>4. Training for instructors will be provided so that instructors at job training schools can carry out training.</li> </ol> <p>(4) Input (at time of evaluation)</p> <p>Japan side:</p>	



Dispatch of long-term experts: 1; Donation of equipment: approximately 13 million yen  
 Dispatch of short-term experts: 0  
 Acceptance of trainees: 0  
 Beneficiary country's side:  
 Assignment of counterparts: total of 6  
 Provision of land and facilities: Project office, training facilities  
 Responsibility for local costs:  
 Other

## 2. Overview of the Evaluation Study Team

	(Assigned field: name, position)	
Researchers	Mr. Yasushi Wada, Director of Latin America office, IC Net Limited	
	Ms. Maya Asakura, Assistant consultant, IC Net Limited	
	Ms. Tomoko Watanabe, Assistant consultant, IC Net Limited	
	Mr. Takayuki Ando, Assistant Director, JICA Mexico office	
Study period	February 4, 2005	Type of Evaluation: Terminal evaluation

## 3. Overview of Evaluation Results

### 3-1 Confirmation of Achievements

#### (1) Extent to which Output 1 was achieved

Although the equipment had been provided as of the project completion date (April 2004), it was not until July 2004 that the equipment had been completely installed and the training space had been prepared. The Mexican side provided CIDFORT with computer facilities, network facilities, photography equipment and video equipment, and this infrastructure was completed in March 2004. Despite the delays, the training space needed to prepare educational materials and improve development skills at CIDFORT was secured.

#### (2) Extent to which Output 2 was achieved

At the time that the terminal evaluation was carried out, training in the preparation of educational materials using this technology had not been carried out, but there are plans to bring the instructors from the Center in which the aforementioned software was installed to CIDFORT and provide training in the use of this technology. In addition, there are also plans to install technology for distance learning at the Center serving as the base for other remote areas. Training in the preparation of educational materials using this technology from the Center in which it was installed started from April 2005, and there are plans to achieve the project purpose of providing training using installed technology to 80 people at four centers by November 2005.

#### (3) Extent to which Output 3 was achieved

By the time that the terminal evaluation was carried out, four sets of educational material (methods for preparing educational materials using the Internet, use of Flash Mx, methods for preparing materials using slides, and methods for using digital cameras and digital video) to be used in training CECATI instructors had been prepared. As the objective was to prepare four sets of educational materials, the objective was achieved.

#### (4) Extent to which Output 4 was achieved

At the time that the terminal evaluation was carried out, four types of training for a total of nine training sessions had been carried out. A total of 151 CECATI instructors had received this training. As the objective was for 120 instructors to receive training, actual results exceeded the objective.

#### (5) Project Goal

By January 2005, a total of 151 instructors had participated in the training course, of which 108 passed the final exam. This put the percentage of instructors passing the exam at 71.5%.

slightly undercutting the project goal of 80%. Another indicator for the project goal was to develop, through the project, five sets of educational materials to the point where they could be used. As of the time that the terminal evaluation was carried out (January 2005), 20 sets of educational materials could be utilized, resulting in the fulfillment of the project goal. These educational materials were completed in CD format, and the possibility of distributing them via the Internet is being considered to ensure that they are spread across as wide an area as possible in the most affordable way.

### 3-2 Summary of Evaluation Results

#### (1) Relevance

##### 1) Relevance of overall goal

Mexico's primary goal is to foster small and medium-sized companies. Further, one of Japan's priority areas for aid in Mexico is industrial development and regional development. Since aid for education in vocational technology would fall under this rubric, the overall goal of improving the quality of the educational services provided by CECATI by using cutting-edge technology is deemed relevant.

##### 2) Relevance of project goal

###### a) Consistency with overall goal

By achieving the project goal, the instructors' overall skills in providing training would be improved and the educational materials prepared by the instructors would be dispersed and utilized, thus standardizing training instruction. Since this would likely lead to the achievement of the overall goal, the project goal and the overall goal are consistent.

###### b) Consistency with implanting institution's organizational needs

By developing educational materials using cutting-edge technology and creating a distance training system, the nationwide CECATI would be able to provide uniform training instruction. Accordingly, the organizational need for CECATI instructors to improve their skills in providing technology training is consistent with the project goal.

#### (2) Effectiveness

The percentage of instructors that passed the final exam was 71.50%, about 10% below the indicator for the project goal of 80%. Nevertheless, 20 sets of educational materials were brought to a level at which they can be used, well exceeding the goal of five sets. The project goal of improving CECATI instructors' skills in preparing educational materials using cutting-edge technology can thus be deemed to have been generally achieved.

#### (3) Efficiency

The interview results demonstrate conclusively that the input time and field of expertise for the dispatch of experts were appropriate. The status of use of the donated equipment and their maintenance are also favorable. It has been pointed out that some of the materials for distance training are not being used, but this is not because of the materials themselves but because of problems with the Internet system. Currently, the goal is to set up the Internet environment as soon as possible.

#### (4) Impact

The installation of equipment through this project enables CECATI instructors to prepare educational materials using advanced technology; a total of 151 instructors received this training. Further, organizations other than CIDFORT have expressed interest in CIDFORT's training activities on the preparation of materials using advanced technology, and the state governments have also shown strong interest in them. Further, the equipment for the television conference system that was donated makes it easier for Mexico to communicate with other countries. Another output is shown in plans to prepare educational materials for the Internet in cooperation with other Central and South American countries in the future. The materials needed for training and the skills of the instructors that will use these materials have improved, contributing to the improvement of CECATI's services, which was the project's overall goal.

(5) Sustainability

While there are some uncertainties in terms of the organization and systems, such as the fact that the allocation of staff has not been determined past 2006, in terms of finances, budget allocations have been determined through 2008 and independent revenue sources have been secured. Accordingly, sustainability is high. Further, CIDFORT counterparts responded that they will also use the materials introduced in this project and that activities can be continued in the future, making technical sustainability high.

3-3 Factors contributing to the Achievement of Outputs

(1) Factors related to plans

Individual experts were dispatched before the project started to ascertain the role and function of the beneficiary country's organizations and their needs. This ensured that the plans were consistent with current conditions and needs, and facilitated the achievement of the project's output.

(2) Factors related to implementation process

As described above, the experts dispatched before the project was carried out were dispatched to the project on a continuous basis. This meant that there was no need for the usual preparation period (typically used to coordinate with counterparts, build up personal relationships, determine needs and confirm the baseline) and immediately after the project started. This project lasted only five months, which was quite a brief period, but the efficiency of the implementation process was a major factor in preventing the briefness of the period from resulting in substantial losses.

3-4 Factors Inducing Problematic Issues and Problems

(1) Factors related to plans

This technical project aimed to donate materials and equipment that could not be provided through the dispatch of individual experts. Given this particular background, a project design matrix (PDM) was not prepared, and the indicators essential for managing the progress of the project were not set until the time that the terminal evaluation was carried out. The indicators were set by the counterparts and the terminal evaluation study team. This impeded the efficiency of the project's management.

(2) Factors related to implementation process

Although a framework for the project itself was not developed, CIDFORT prepared its own activity plans and donated materials were utilized in accordance with these plans. Accordingly, there were no major obstacles facing the implementation process.

3-5 Conclusion

As of the terminal evaluation, 151 of the approximately 3,500 CECATI instructors nationwide had participated in the training. However, this number is expected to increase, as the skills of the CIDFORT instructors providing the training were improved through the project implementation, training materials were set up, and facilities and technology for future distance training are in the process of being set up. Accordingly, the project's initial goal (To improve the skills of job training school instructors in preparing educational materials by using new electronic technology) has been achieved.

3-6 Recommendations

(1) Train instructors efficiently using the cascade method.

There are a large number of CECATI instructors, with about 3,500 nationwide. These instructors can be trained efficiently by developing a system in which the core instructors are first trained and these instructors then train the other instructors.

(2) Use independent revenue to upgrade materials and equipment.

In many cases, a change in policy can dramatically change the budgets allocated to public organizations. It is essential that CIDFORT secure human resources and the material and equipment necessary for its operations in order to ensure that its original role is stable. In particular, the service life of electronic equipment is quite short and technical innovations affecting the equipment are rapid. Using independent sources of revenue as much as possible to upgrade this equipment is important for ensuring CIDFORT's continued functions.

(3) Develop a monitoring system and ensure effective project management.

This project did not have a PDM, and was started without setting clear project goals or the indicators that would determine the extent to which the goals had been achieved. This was due to the particular circumstances in which this project was formed, but a system should be developed to ensure that the project framework is clarified, a monitoring system is developed and the project is managed more effectively.

3-7 Lessons Learned

Long-term experts were dispatched before the project started. Judging from the extent to which the materials and equipment were being used as of the terminal evaluation, the role and needs of CIDFORT—where the experts were sent—were accurately identified by the experts. As with this project, sending individual experts and accurately ascertaining the functions and needs of the organization to which the experts were dispatched is very important in terms of efficiency when forming technical projects.

Also, CIDFORT's activities were praised in this project and led to support from the state government. Creating channels through which the project's results can be publicized and appealing to the project's significance would not only enhance the project's efficiency, but is also important in ensuring its continuation after the project is completed. Public relations activities should be actively utilized in other projects as well.

3-8 Follow-up Situation

Nothing relevant.

## 目次

評価調査結果要約表（日）

評価調査結果要約表（英）

1. 評価調査の概要.....	1
2. 評価結果.....	2
3. 終了時評価調査の結論.....	11
4. 提言.....	11
5. 終了時評価調査からの教訓.....	12

### <添付資料>

1. プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）
2. メキシコ側供与機材
3. 日本側供与機材
4. 研修用作成教材
5. 活動スケジュールおよび活用機材（結果）（2003年11月～2005年1月）
6. 活動スケジュールおよび活用機材（計画）（2005年1月～2005年12月）
7. 供与機材リスト
8. 人員配置
9. 予算配置
10. CIDFORT 組織図
11. アンケート回答結果まとめ

## 1. 評価調査の概要

1-1. 現地調査期間：2005年2月4日

### 1-2. プロジェクトの背景

メキシコでは、貿易自由化や規制撤廃で外国資本の進出が容易になり、国内産業の競争力強化が国家目標の一つになっている。このような状況下で、これら外国資本の先端技術に対応・対抗できるだけの十分な技能労働者の供給と、先端技術を応用・発展できる能力を持った技術者・技能者の育成が必要になっている。

メキシコの技能者の育成は、教育省技術教育研究局内に設けられた職業訓練センター部傘下の国立職業訓練センター(Centros de Capacitación para el Trabajo Industrial : CECATI)が担当している。

CECATI のプログラムには、修理業中心のカリキュラムで個人事業者の育成を目指す内容のものが多いが、現状のニーズに対応して企業人育成へのカリキュラムのシフトが迫られている。また、同センターには計約 3500 名の指導員がいるが、いわゆる職人が多く、教科書を使わずに個人の経験を基にした指導方法が主となっている。訓練生側も指導員が黒板に書く事項をただ書き写すだけという傾向が強い。研修の内容も目的も変化しており、その変化に適した教育システムや教育技法の開発が必要になっている。現状にあった教育システムや教育技法の開発を目的として 2000 年 11 月に設置されたのが職業訓練研究開発センター(Centro de Investigación y Desarrollo de la Formación para el Trabajo: 以降 CIDFORT)である。しかし、ここでも指導員の大半は職人であるため指導の経験が浅く、指導員・教官としての能力が不足している。こういった問題を早急に解決することが CIDFORT の目下の課題である。

技術協力プロジェクト「メキシコ国電子分野における研究・教育手法の開発プロジェクト」は、上述の状況の下で、CECATI 指導員の教材作成と開発能力向上を目標とし、2003年11月1日～2004年4月1日の間実施された。本プロジェクトは、教材開発を目的とした機材供与が主目的だった。本終了時評価調査は、機材供与の評価以外に、その直接の目的だった「CECATI 指導員の教材作成および開発能力向上」達成度の評価を考慮することが望ましいため、評価調査の対象期間を終了時評価実施直前の 2005 年 1 月までとした。

### 1-3. 評価の目的

本終了時評価は、プロジェクト実施期間(2003年11月～2004年4月)終了後約9ヶ月が経過した2005年1月時点でのプロジェクトの成果を、有効性、インパクト、効率性、妥当性、自立発展性の5つの評価の視点を用いて評価した。評価の目的は、これらの評価結果から導き出される教訓と提言を、今後の協力のあり方や実施方法の改善に役立てることである。

### 1-4. 調査者

総括：和田泰志(アイシーネット株式会社 ラテンアメリカ事務所長)

評価分析：朝倉麻耶(アイシーネット株式会社 アシスタント・コンサルタント)

評価分析：渡辺知子(アイシーネット株式会社 アシスタント・コンサルタント)

### 1-5. 調査手法

プロジェクトの概要と現状を把握した上で、評価用プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDMe)<sup>1</sup>を作成した。このプロジェクトではPDMは作成されておらず、評価用PDMが本件で最初に作成されたものだった。PDMが作成されていないため明確な指標も目標値も設定されていなかったが、CIDFORTの活動計画書とその目標値に基づき、評価用PDMとその指標と指標値を設定した。このPDMに基づき、既存の資料の分析、CIDFORT現地視察、CIDFORT職員と元カウンターパートへのインタビューとアンケート調査を実施し、必要とされる評価情報を収集した。これら評価情報をPCM手法のプロジェクト評価の枠組みに沿って評価した。

## 2. 評価結果

### (1) 妥当性

#### 1) 上位目標の妥当性

メキシコは、中小企業の育成を重点目標としており、さらに、日本はメキシコに対する援助重点分野の一つに「産業開発と地域振興」を取り上げ、その中で取り組むべきプログラムとして「職業技術教育支援」を挙げている。本プロジェクト実施により、CECATI 指導員の技術と技術訓

---

<sup>1</sup> 添付資料1参照

練指導方法を先端技術に対応できるレベルに向上させることができ、それにより、訓練を受ける中小企業の技術者・技能者のレベルも向上すると考えられる。これが中小企業の活性化につながり、ひいてはメキシコ経済の活性化にもつながると考えられる。以上の点から、「先端技術の活用により CECATI が提供する教育サービスの質が向上する」とした上位目標は、メキシコ政府の政策に整合するものと考えられる。

## 2) プロジェクト目標の妥当性

### ① 上位目標との整合性

「CECATI 指導員の先端技術を活用した教材作成能力が向上する」というプロジェクト目標が達成されることにより、各指導員の訓練指導能力全般が向上する。さらに、作成された教材を指導員が研修で普及・活用することにより、全国的により均一の訓練指導が実施できるようになる。それによって、上位目標である「先端技術の活用により CECATI が提供する教育サービスの質が向上する」が達成される。このことから、プロジェクト目標と上位目標の整合性は確保されていると考えられる。

### ② 実施機関の組織的ニーズとの整合性

CIDFORT の設立目的は、全国に約 3500 人いる CECATI 指導員の技術訓練指導能力の向上である。CECATI 指導員の先端技術を活用した教材作成能力が向上するというプロジェクト目標の達成により、それが促進されることが考えられる。先端技術を活用した教材が作成され、遠隔研修システムが整備されることにより、全国の CECATI で均一化された訓練指導が実施できるようになる。以上の点から、プロジェクト目標は組織的ニーズに適合していると考えられる。

以上のように、上位目標は国の政策や JICA の援助重点分野と整合しており、計画は妥当だった。プロジェクト目標に関しても、上位目標や CIDFORT の設立目的との整合性は確保されており、妥当である。

## (2) 有効性

### 1) 成果

#### ①CIDFORT にのための施設が整備される

プロジェクト実施の主目的は、CIDFORT と地方の拠点 CECATI に対する「教材作成・開発能力向上」のための研修実施に必要な供与機材の導入・設置で、この成果の達成を計る指標は、「プロジェクト実施期間終了時までには CIDFORT に 100%の機材が設置される」であった。モニタリ



ング結果によると、プロジェクト実施期間終了時点で(2004年4月)、機材投入の実施は達成されたものの、機材設置が完了し研修スペースの準備が整ったのは2004年7月だった。なお、メキシコ側からは、CIDFORT に対しコンピューター設備、ネットワーク設備、写真機材設備、ビデオ機材設備等が投入され、2004年3月に設置を完了した。時期の遅れがあったものの、教材作成・開発能力向上のための研修スペースは、こうしてCIDFORT に確保された<sup>2</sup>。

## ② 遠隔研修のためのシステムが改善される

この成果を計る指標は、「終了時評価調査時点(2005年1月)までに、80人(各センター20人×4センター)がこの機材を活用した教材作成のための研修を受ける」だったが、モニタリング結果によると、終了時評価調査時点ではこの機材を活用した教材作成のための研修はまだ実施されていなかった<sup>3</sup>。

CIDFORT 職員によると、本プロジェクトの供与機材であるビデオ研修用機材がモンテレイ(CECATI-No.10)、エルモシージョ(CECATI-No.69)、グアダラハラ(CECATI-No.16)、メキシコ・シティ(コンベンション・センター)の4カ所に設置(2004年7月12日)されたが、各センターでビデオ研修を実施できるだけのキャパシティを持ったインターネット環境が整っておらず、研修の開始が遅れているということだった。同職員によると、これに対処するため、既にその環境設備が整っているセンターに研修用機材を移動させることも検討中という。

今後、上記機材が設置されたセンターの指導員をCIDFORT に集め、機材活用のための研修を実施する予定。さらに他の遠隔地域の拠点となるセンターにも遠隔研修用の機材を設置する予定がある。なお、2005年4月以降、機材が設置されたセンターからこの機材を使用した教材作成のための研修を開始し、2005年11月までにプロジェクト目標である「4センター80名に対する研修の実施」が達成できるよう計画しているとのことだった<sup>4</sup>。

## ③ CECATI の指導員に対する研修のための教材が作成される

終了時評価調査時点までに、CECATI 指導員に対する研修用教材が目標とされた4つ作成されたことが確認された<sup>5</sup>。この4つは①WEB 用教材作成方法の研修、②Flash Mx 活用のための研修、③スライド作成方法の研修、④デジタルカメラとデジタルビデオの活用方法の研修-であ

<sup>2</sup> 添付資料2および3参照

<sup>3</sup> カウンターパートによると、エルモシージョ(CECATI-No.69)では、この機材を使って習得評価・証明方法の研修が実施された。

<sup>4</sup> 添付資料6参照

<sup>5</sup> 添付資料4参照

る。

④ CECATI の指導員に対し、教材作成のための研修が実施される。

終了時評価調査時点で、教材作成のための研修は 4 タイプ計 9 回実施され、合計 151 人の CECATI 指導員がこれらの研修を受講した。目標受講者数は 120 人であり、実績は目標以上を達成している<sup>6</sup>。

a) WEB 用教材作成方法の研修状況

研修実施場所	実施日	参加者数	日数
CECATI No.124 (ソノラ州)	2004.1.19-2004.1.23	17	5
CECATI No.118 (ソノラ州)	2004.2.23-2004.2.27	15	5
CIDFORT(イダルゴ州)	2004.8.2-2004.8.6	10	5

b) Flash Mx 活用のための研修状況

研修実施場所	実施日	参加者数	日数
CIDFORT(イダルゴ州)	2004.6.7-2004.6.11	18	5
CIDFORT(イダルゴ州)	2004.6.28-2004.7.2	18	5
CIDFORT(イダルゴ州)	2004.8.9-2004.8.13	19	5

c) スライド作成方法の研修状況

研修実施場所	実施日	参加者数	日数
CIDFORT(イダルゴ州)	2004.7.26-2004.7.30	10	5
CECATI No.37(メキシコ州)	2004.7.26-2004.7.30	10	5

d) デジタル写真とデジタルビデオの活用方法の研修状況

研修実施場所	実施日	参加者数	日数
CIDFORT(イダルゴ州)	2004.7.19-2004.7.23	16	5

2) プロジェクト目標

プロジェクト目標は、「CECATI 指導員の先端技術を応用した教材作成のための能力を向上させる」であり、この目標達成を計る指標は、「研修を受けた CECATI 指導員のうち 80%の者が研修コース終了後に実施される試験に合格する」、「プロジェクト実施期間終了時に、CECATI 指導員が作成した全教材のうち 5 個が活用可能なレベルにある」だった。

2005 年 1 月までに 151 人の指導員が研修コースを受講し、うち 108 名が終了時試験に合格している。合格の割合は 71.50%なので、プロジェクト目標値にはわずかに及ばなかったが、おお

<sup>6</sup> 添付資料 5 参照

むね達成したと判断できる。

2 つ目の指標に関しては、研修を受講した指導員 151 人が各人一個ずつ教材を作り、最終的に計 151 の教材が作成されている。終了時評価調査時点(2005 年 1 月)までに 20 教材が活用可能なレベルに到達しており、当初の目標の 5 教材を大きく超えた。

以上のことから、「CECATI 指導員の先端技術を活用した教材作成能力が向上する」というプロジェクト目標はほぼ達成されたと評価できる。

しかしながら現時点では、この 20 教材はまだ普及されるには至っていない。CD として完成はされているものの、それをできるだけ広範囲に経済的な方法で普及するためにインターネットでの配布を検討しており、現在その準備段階にある。この 20 個以外の全ての教材に関しても、さらに完成度を上げるために引き続きフォローアップを続けているということだった。

### (3) 効率性

#### 1) 投入規模とタイミングの妥当性

日本側

##### ① 専門家の派遣

プロジェクトでは、電子分野の研究・教育手法開発の長期専門家が 1 人派遣された。この専門家は、本プロジェクト実施以前に同分野の個別派遣専門家として 2001 年 4 月 2 日から 2003 年 4 月 1 日までの予定で CIDFORT に派遣され、その後 2004 年 4 月 1 日まで派遣期間が延長された。そのうち、2003 年 11 月 1 日から 2004 年 4 月 1 日までは技術プロジェクト専門家として派遣されている。

本プロジェクト期間中、技術プロジェクト専門家が担当したのは主に「WEB を活用した教材作成の研修を実施するのに必要な機材の調査および要請のための助言」と「CIDFORT 研修員による教材作成研修実施および教材作成に係る助言」の 2 つだった。

DGCFT カウンターパートによると、同専門家により教材作成研修のために必要な機材の要請が効率的で有効に行われ、それによって CIDFORT での研修実施が可能になった。また、派遣された専門家は電子分野の専門家だったが、個別派遣専門家期間中「WEB を活用した教材作成の方法マニュアル」をカウンターパートらとともに作成しており、この分野に関する知識が豊富

だった。よって、派遣期間、派遣時期、専門分野ともに適切であった。

## ② 機材供与

日本側からは、総額 130 万 7516.60 ペソ(案件概要表：約 1400 万円)の機材が投与された。

プロジェクト終了時評価時の供与機材の維持管理と利用状況は良好だった<sup>7</sup>。終了時評価調査時は研修期間ではなかったため、研修用機材のいくつかは倉庫に保管してあったが、倉庫には管理責任者がおり、保管場所等が把握されているなど管理が行き届いていた。供与されたソフトウェアもコンピューターにインストールされており活用されていた。テレビ会議用の機材も、CIDFORT 職員によると、拠点となる 4 カ所の CECATI に供与・設置されていた。利用状況の詳細は添付資料 5 のとおりである。

## ③ 研修員受け入れ

プロジェクト実施期間中、カウンターパートの日本への研修受け入れは実施されなかった。

メキシコ側

### ① C/P の配置

メキシコ側のカウンターパートは、DGCFT に 1 人、そして CIDFORT に以下のメンバーが配置された。

- ・ CIDFORT 責任者
- ・ 調査・研修責任者
- ・ 教材開発責任者
- ・ システム責任者
- ・ 総務責任者
- ・ 研修担当者(4 人)

### ② 建物、施設

- ・ 研修用教室
- ・ インターネットサービス
- ・ コンピューターネット設備
- ・ 電気・電力サービス
- ・ コンピューター設備

---

<sup>7</sup> 添付資料 7 参照

- ・ 写真機材設備
- ・ ビデオ機材設備

これらの建物、施設が予定通り提供された。

### ③ ローカルコスト

メキシコ側からは、2003年11月以降2005年1月までに施設、設備、人件費、光熱費などが投入されている。(参考案件概要表：ローカルコスト負担：約200万円)また、供与機材に関する税金もメキシコ側で行った(負担額：19万6127.48ペソ、CIDFORTデータによる)

以上の調査結果を総括すると、専門家派遣に関しては、専門家の派遣により教材作成研修のために必要な機材の要請が効率的で有効に実施されたというインタビュー結果からもわかるように、投入時期、専門分野ともに適切だったといえる。機材供与に関しては、CIDFORTに対する投入は適切だったものの、地方拠点センターに投入された遠隔研修のための機材が、設備不足から一部活用されていないことが指摘されており、改善が必要である。

### (4) インパクト

本プロジェクトによる機材の設置によって CECATI 指導員に対する先端技術を活用した教材作成のための研修が可能となり、計151人が研修を受けた。先端技術を使った教材作成の研修活動に対しては、CIDFORT以外の機関から関心が寄せられ、州政府からも高い関心が示されている。さらに、供与されたテレビ会議システムの機材によって、他の国々とのコミュニケーションがより容易となり、将来は、他の中南米の国々と協力してWEBのための教材作成を計画しているという効果も現われている。研修に必要な機材とそれを活用する指導員の能力が向上しており、それは上位目標であるCECATIのサービス向上に寄与すると考えられる。

#### 1) 直接的インパクト

CIDFORTカウンターパートに対するアンケート調査<sup>8</sup>によると、本プロジェクトの実施によって次のような直接効果があったとしている。

- ・ 「研修用機材が導入・設置されることによって、国際的にインパクトを広げられるような研修の提案と教材開発が可能になった」
- ・ 「作業の形態や様々な種類の教材の開発にインパクトがあった」

<sup>8</sup> アンケート対象 CIDFORT カウンターパート 8 人。添付資料 X 参照(2005 年 2 月 14 日実施)

- ・「研修クラスの改良のために移転された機材や技術を活用するという点で、インパクトがあった」
- ・「研修クラスの開催や、様々な専門を持つ指導員による教材の作成が可能となることにより、私達の教育サービスの質を上げることができる」
- ・「私達のミッションは、CECATI が提供するサービスの質を高めることであり、指導員の役割・機能の改善を可能にする研修クラスが展開できること、また、生産セクターの必要性に対応するための準備ができるという点においてインパクトがあった」
- ・「教育機関として、CIDFORT の重要性は大きく際立っており、インパクトはあった」

## 2) 間接的インパクト

CIDFORT カウンターパートに対するアンケート調査<sup>9</sup>によると、本プロジェクトの実施によって次のような間接効果があったとしている。

- ・「研修受講者である指導員のニーズが、CIDFORT での研修によく反映されている」
- ・「研修室がひとつ設置されたこと」
- ・「外国(日本)からの人物を招いたことで、直接互いの文化の交流が推進されたこと。さらに、英語を話すことによって英語力が高められた」
- ・「このプロジェクトは、新しいことをやっており、また本機関以外の人々の活動にも大いに活用できる可能性があるため、彼らから大きな関心を寄せられている」
- ・「指導員が作成する教材をインターネット上で普及することに対して他の政府関連機関が関心を持っている。これに活用することによって研修を推進し、国の教育の遅れを縮小させることに関心を持っている」
- ・「イダルゴ州政府が供与機材を設置するための研修室の設置を承認したのは、CECATI の研修の成果が認められたためである」
- ・「JICA が供与したテレビ会議システムの機材を活用することによって、インターネットを通じ、スペインやコロンビアなどの他の国々とテレビ会議のネットワークができ、それによってそれらの国々に CIDFORT の活動を知らせることができた」

## (5) 自立発展性

### 1) 組織・制度的側面

プロジェクト終了時評価時点で CECATI に配置されている人員は 43 人だった。2005 年に配置が予定されている人員は 41 人。CIDFORT のカウンターパートによると、人員配置は DGCFT

<sup>9</sup> アンケート対象 CIDFORT カウンターパート 8 人。添付資料 X 参照(2005 年 2 月 14 日実施)

によって決定され、2006年以降どの部署に何人が配置されるかは未定だということである<sup>10</sup>。

表X CIDFORT 職員数(2000年～2005年)

年	2000	2001	2002	2003	2004	2005(計画)
人数	15	24	30	44	43	41

出展：CIDFORT

## 2) 財政的側面

下記に示すとおり、プロジェクト終了後、2005年以降のCIDFORTに対する政府からの予算は確保されている。また、それとは別に研修の実施や技術証明書の発行によって得られる独自の収入があり、それが年々増額している<sup>11</sup>。

表X CIDFORT のプロジェクト終了後の予算額および予算源(2005年～2008年) 単位：ペソ

予算源	2005	2006	2007	2008
政府配分予算	803,227.70	883,550.47	971,905.52	1,069,096.08
独自の収入	715,616.11	787,177.73	865,895.51	952,485.07
合計	1,518,843.81	1,670,728.20	1,837,801.03	2,021,581.15

出展：CIDFORT

## 3) 技術的側面(今後の機材の活用について)

CIDFORT カウンターパートへのアンケート調査の「供与された機材を活用して、これからも活動を継続していけるか」という質問に対して、以下の回答があった。(アンケート対象は8人<sup>12</sup>)

- ・ 「機材は新しく、最新の技術のものなので、中期にわたってこれらを活用していけるだろう」
- ・ 「ある一定の期間は継続していけるだろう。ただ、教材を作成するための機材にしてもソフトウェアにしても、そのうち旧式化してしまう」
- ・ 「継続していける。なぜなら、供与された機材は、自分たちの教育サービスの必要性を考慮しているレベルの高いテクノロジーだから」
- ・ 「継続していける。なぜなら、供与された機材は技術レベルが高く、これによって私たちに今求められている革新と変化を推進する様々な分野のプロジェクトのレベルを向上させることができるからである」
- ・ 「継続していける。なぜなら、これらの機材は、CIDFORT の大部分の活動を発展させていくうえでキーポイントとなるものだから」
- ・ 「供与された機材は先端技術のものであり、継続できると考える」

<sup>10</sup> 添付資料8参照

<sup>11</sup> 添付資料9参照

<sup>12</sup> 添付資料11参照

- ・「継続していける。供与された機材によって、作業が容易になり、様々な教材の開発に役立つ」

アンケートの結果を見ると、カウンターパートの大半が、今回供与された機材を活用した活動の継続が一定期間は可能と考えていることがわかる。

自立発展性の検討結果を総括すると、2006年以降の人員配置が未定など、組織・制度面で多少の不安な点があるものの、財政面では2008年までの予算配分が決まっており、また独自の収入源も確保していることから自立発展性は高いと言える。さらに、CIDFORTのカウンターパートも今回導入された機材を活用して、今後活動を継続していけると答えており、技術的な面での自立発展性も高い。

### 3. 終了時評価調査の結論

プロジェクト目標の達成度(有効性)、目標への貢献度(インパクト)をはじめ、評価の5つの視点すべてで高い評価が出ていることを考えると、プロジェクト実施の効果は大きかったと言える。このプロジェクトでは機材の供与が大きな柱になっているが、供与された資機材の管理や運用は組織的にしっかり行われており、その結果として指導員の能力強化が形として現れつつある。今後、上位目標への正のインパクトが期待できる。ただし、プロジェクトの実施プロセスに関しては、PDMが作成されていなかった、数値目標が設定されていなかった、など、今後のプロジェクト運営管理のあり方に課題を残した。

### 4. 提言

このような現状をふまえたうえで、以下の事項を提言する。

#### (1) カスケード方式を利用して効率的な指導員要請システムを構築する。

終了時評価調査時点でのCECATIの指導員は全国に約3500人いるが、本プロジェクトを通して研修を受講したCECATI指導員はこのうちの151人だけである。今後遠隔研修のための設備・技術が整備されれば、指導員の受講機会は増加すると思われるが、対象者数はかなり大きいので、それだけですべての対象者の速やかな受講を実現させることは容易ではない。これらの対象者全体が必要な知識や能力の習得を実現し、職業訓練センターでの指導レベルが向上していくためには、より能力のある指導員を「指導員の教官」として育成し、これら指導員がそれぞれの地域の職業訓練センターで指導員の指導にあたるシステムの構築、すなわちカスケード



方式の構築が望まれる。

(2) 自己収入を主要な機材更新にあてる。

メキシコのみならず中南米では政府の政策が頻繁に変わる。政策の変更によって公的機関の予算配分が大きく変わるケースはよく見られる。CIDFORT が本来の役割を安定して確保していくためには、人的資源の確保と業務に必要な資機材の確保が欠かせない。特に電子機器は耐用年数が短く、機材自体の技術革新も激しい。これらの資機材の減価償却年数をそういった分野の特色に合わせて計算し、その更新をできる限り独自の財源によってまかなうことが、CIDFORT の機能を継続させるうえで重要である。

(3) モニタリングシステムを構築し、効果的なプロジェクトマネジメントを実現する

このプロジェクトには PDM がなく、明確なプロジェクト目標も、その達成度を判定する指標も設定されないままプロジェクトが開始された。それは本プロジェクト形成の特殊な背景に由来するが、この機会にプロジェクトの枠組みを明確にし、モニタリングシステムを構築して、より効果的なプロジェクトの運営を実現する仕組みを作成することが望ましい。

## 5. 終了時評価調査からの教訓

このプロジェクトでは、プロジェクト開始以前に長期専門家が派遣されていた。終了時評価で調査した資機材の使用状況を見ると、専門家の派遣によって派遣先である CIDFORT の役割やニーズが的確に判断できていたことがうかがえる。本件のようにまず個別専門家を派遣して、派遣先の機能とニーズを明確に把握した上で技術プロジェクトを形成することは、特に効率性の観点から重要である。

また、このプロジェクトでは CIDFORT の活動が評価され、それが州政府の支援へとつながった。プロジェクトの成果を広報するチャンネルを構築し、プロジェクトの存在意義をアピールすることは、プロジェクトの効率性を高めるだけでなく、プロジェクト終了後の継続性を確保するためにも重要である。外に向けた広報活動は他のプロジェクトでも積極的に取り組んでいくべきである。

## 添付資料目次

1. プロジェクト・デザイン・マトリックス
2. メキシコ側供与機材
3. 日本側供与機材
4. 研修用作成教材
5. 活動スケジュールおよび活用機材(結果)(2003年11月～2005年1月)
6. 活動スケジュールおよび活用機材(計画)(2005年1月～2005年12月)
7. 供与機材リスト
8. 人員配置
9. 予算配置
10. CIDFORT 組織図
11. アンケート回答結果まとめ



**Nombre del Proyecto:** PROYECTO DE CAPACITACIÓN PARA EL DESARROLLO DE MATERIALES DIDÁCTICOS

**Organismos Implementadores:** JICA-DGCFT (CIDFORT)

**Duración del Proyecto:** TOTAL: NOVIEMBRE 2003 A ABRIL 2004

**Área Objetivo:** REPÚBLICA MEXICANA (CIDFORT)

**Beneficiarios:** INSTRUCTORES DE CECATI

Resumen del Proyecto	Indicadores Objetivamente Verificable	Medios de Verificación	Condiciones Exteriores
<p><b>Objetivo Superior</b></p> <p>Enriquecer y mejorar la calidad de los servicios que ofrecen los CECATI mediante el uso de nueva tecnología</p>	<p>25% de instructores de CECATI a nivel nacional (total son aprox.3,500 instructores), son aprobados mediante un diploma de acreditación de curso, después de 5 años del momento de evaluación final (2010)</p>	<p>Programa Anual (2005) de Actualización Docente de la DGCFT</p>	<p>No hay cambio en política de educación del país que afecte a la educación tecnológica</p>
<p><b>Objetivo del Proyecto.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Incrementar las capacidades de elaborar de materiales didácticos de los instructores de CECATI, mediante el uso de nuevas tecnologías (Macromedia , Pinnacle, MsProducer)</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>80% de instructores capacitados de CECATI son aprobados mediante un diploma de acreditación en el curso de materiales didácticos hasta el momento de evaluación final (enero 2005)</li> <li>5 materiales didácticos elaborados por instructores capacitados alcanzan un nivel de ser difundidos y utilizados en los cursos de CECATI hasta el momento de evaluación final (enero 2005)</li> </ol>	<p>Informe estadístico de capacitación a instructores a nivel nacional</p>	<p>Se imparten a los instructores de CECATI los cursos de actualización docente en aspectos pedagógicos y técnicos de la especialidad.</p> <p>Se realizan evaluación y certificación de competencia laboral de los instructores, y directivos de los CECATI y demás planteles educativos de formación para el trabajo.</p>
<p><b>Resultados</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Preparación del espacio físico para la capacitación en CIDFORT</li> <li>Mejorar el sistema de capacitación a distancia</li> <li>Elaboración de materiales didácticos para la capacitación de los instructores del CECATI</li> <li>Impartir los cursos de capacitación a los instructores de CECATI para el instructores para impartir los cursos</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>El 100% de los equipos son instalados en CIDFORT al término del proyecto (abril 2004)</li> <li>80 instructores (20 instructores por cada centro) son atendidos en cursos de distancia hasta el momento de evaluación final (enero 2005)</li> <li>4 materiales son elaborados para la capacitación de los instructores de CECATI hasta el momento de evaluación final (enero 2005)</li> <li>120 instructores son capacitados en el desarrollo de materiales didácticos hasta el momento de evaluación final (enero 2005)</li> </ol>	<p>Programa Institucional (2001-2006)</p>	<p>Hay apoyo para promover la difusión de los materiales didácticos por parte del Consejo Nacional de Educación para la Vida y el Trabajo (CONEVyT)</p>

添付資料 1 プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDMe)

<p><b>Actividades</b></p> <p>1.1 Instalar equipos necesarios en el aula-taller para la capacitación</p> <p>1.2 Instalación eléctrica, red y servicio de Internet del aula-taller para la capacitación</p> <p>1.3 Instalar los equipos para la capacitación en distancia en puntos estratégicos del país</p> <p>1.4 Capacitar a los formadores del CIDFORT para el manejo del equipo</p> <p>2.1 Establecer enlaces a través de videoconferencias en puntos estratégicos del país</p> <p>2.2 Capacitar a los formadores para la impartición de cursos a distancia</p> <p>3.1 Desarrollar el contenido del curso Método de Elaboración de Diapositivas Efectivas para la Capacitación</p> <p>3.2 Desarrollar el contenido del curso Fotografía y Video Digital para la Capacitación</p> <p>3.3 Desarrollar el contenido del curso Método de Elaboración de Material Didáctico para la Web</p> <p>3.4 Desarrollar el contenido del curso Macromedia Flash Mx</p> <p>4.1 Impartir el curso Método de Elaboración de Diapositivas Efectivas para la Capacitación</p> <p>4.2 Impartir el curso Fotografía y Video Digital para la Capacitación</p> <p>4.3 Impartir el curso Método de Elaboración de Material Didáctico para la Web</p> <p>4.4 Impartir el curso Macromedia Flash Mx</p>	<p><b>Inversión</b></p> <p>(Parte Mexicana)</p> <p>1. Personal de la contraparte mexicana</p> <p>    1.1 Responsable del CIDFORT</p> <p>    1.2 Responsable de Investigación y Capacitación</p> <p>    1.3 Responsable de Desarrollo de Materiales Educativos</p> <p>    1.4 Responsable de Sistemas</p> <p>    1.5 Responsable de Administración</p> <p>    1.6 Formadores</p> <p>2. Instalaciones físicas</p> <p>    2.1 Adaptación Aula-Taller</p> <p>    2.2 Servicio de internet</p> <p>    2.3 Red de cómputo</p> <p>    2.4 Servicio de electricidad</p> <p>    2.5 Equipo de cómputo</p> <p>    2.6 Equipo de Fotografía</p> <p>    2.7 Equipo de Video</p> <p>3. Gastos de operación</p> <p>(Parte Japonesa)</p> <p>1. Experto Japonés de largo plazo     Asesor en el desarrollo de materiales didácticos     Coordinación</p> <p>2. Capacitación de formadores</p> <p>3. Equipo y software</p> <p>    3.1 Equipo y software para las actividades del proyecto</p>		<p>Hay acceso a los medios de telecomunicación para poder realizar enlaces entre CIDFORT y centros en distancia</p> <p>Los instructores de CECATI capacitados continúan trabajando en los centros.</p> <p><b>Precondiciones</b></p> <p>Hay apoyo por parte del gobierno estatal para equipamiento de aula-taller</p> <p>Hay participación de instructores de CECATI en los cursos de capacitación para el desarrollo de materiales didácticos</p>

添付資料 2 メキシコ国側供与機材

**RELACIÓN DE EQUIPO DONADOS (HASTA MARZO 2004)**

NUM.	CANTIDAD	DESCRIPCIÓN
1	20	COMPUTADORA HEWLETT PACKARD PENTIUM III A 733 MGZ MEMORIA RAM DE 128 MB, DISCO DURO DE 15 GB, MODELO. D9824A
2	20	TECLADO EN ESPAÑOL TIPO MINIDIM
3	20	MAUSE 2 BOTONES Y SCROLL TIPO MINIDIM
4	20	MONITOR HEWLETT PACKARD DE 15"
4	1	PROYECTOR PARA PCS MCA. BOXLIGHT MODELO, CD-450M
5	3	CAMARA DE VIDEO VHS-C MARCA. JVC MODELO. GR-AX767UM PAI-2000
6	1	CAMARA DIGITAL MCA SONY CYBER-SHOT 2.1 MEGAPIXELES
7	1	CAMARA DIGITAL DE VIDEO MARCA SONY DCR-TRV50
8	1	IMPRESORA LASER BROTHER MOD. H1250, 12 PPM PUERTO PARALELO Y USB
9	1	NOTEBOOK VAIO MODELO PCG-GR5N/BP, PROCESADOR PENTIUM III, 256 MB RAM, DISCO DURO 40 GB, CON WINDOWS XP

### RELACIÓN DE EQUIPO DONADO POR JICA

No.	CANTIDAD	ESPECIFICACION DE EQUIPO
1	5	Computadora SONY modelo PCV-RZ25M, Procesador Intel Pentium 4 a 2.80 Ghz con nueva Tecnología HT, Sistema Operativo: Microsoft Windows XP Home Edition, Disco Duro de 160 GB, Pantalla LCD TFT de matriz activa de 17 pulgadas resolución nativa de 1280x1024. Tarjeta de video: NVIDIA GeForce 4MX 440 con AGP8X. Memoria de gráficos de 64 MB (externa). Interfaz i.LINK (IEEE 1394), Tarjeta Ethernet integrada 10BASE-T/100BASE-TX, Puertos USB 2.0 delanteros y trasero, Unidad óptica DVD-RW y CD-ROM, Ranura de Memory Stick.
2	1	Computadora Laptop SONY Modelo PCG-V505GFP, Procesador portátil Intel Pentium 4-M a 2.0 GHz y Wifi integrada, Disco Duro de 160 GB, Memoria DDR-SDRAM de 512 MB expandible a 2 GB, pantalla LCD TFT de matriz activa de 17 pulgadas resolución nativa de 1280x1024. Puertos USB 2.0 delanteros y trasero, Unidad óptica DVD-RW y CD-ROM, Ranura de Memory Stick, Sistema Operativo: Microsoft Windows XP Profesional, Conexión para red inalámbrica (WLAN) integrada, compatible con la norma 802.11b (Wi-Fi), Interfaz i.LINK (IEEE 1394) S400, Ethernet base 10BASE-T/100BASE-TX con interfaz RJ-45, Velocidad del Bus: 400Mhz, Touchpad electrostático, Módem V90 integrado, Paquete de software para edición digital multimedia.
3	2	Impresora Láser marca Hewlett Packard de México Laserjet 1300N, incluye tarjeta de red, 10/20 PPM, (L8A) 16MB, 133Mhz **RIM**.
4	7	Mouse marca Targus super mini optical mouse.
5	6	Cable I-Link marca Belkin components 6 FT IEEE1394 Firewire 4PIN/6PIN 400 MBPS 28AWG ICE.
6	2	Maletín para Laptop marca Avenues imitación piel color negro ejecutivo 2 compartimientos.
7	2	Memoria USB marca Kingston's Data Traveler 2.0 de 256 Mb.
8	1	Cañón proyector marca Lumens Modelo LM-97, Brillo de 3,200 lúmenes, peso 3.9 Kg, 1024 x 768 XGA, 1600 x 1200 UXGA, zoom digital, Picture in Picture PIP, lámpara 2000 horas, para auditorios, control remoto con rayo láser y Mouse,

### RELACIÓN DE EQUIPO DONADO POR JICA

No.	CANTIDAD	ESPECIFICACIÓN DE EQUIPO
9	1	Pantalla de proyección marca Vission Visual modelo DAP244, de pared, tela en plástico vinílico mate, enrollado automático por resorte, terminación en tubo metálico con pintura electrostática, dimensiones de 2.44 m x 2.44 m.
10	1	Duplicadora autónoma (quemadora) marca Teac, 1 a 7, CD-R 40x24 + CD-ROM 32X IDE, está equipada con siete grabadoras Ide Teac 40X y un lector CD-ROM Ide 32X, grabación de 650 MB en 3 minutos, IDE-2, compatibilidad CD-DA, CD-I, Video-CD, CD-ROM-XA, CD-Plus, Enhanced-CD, Buffer de 8 MB, MTMF 30.000 POH.
11	6	Cámara de video marca SONY, modelo DCR-TRV75 con formato de video

添付資料 3 日本国側供与機材

		digital mini DV, CCD tipo 1/3.6" HAD avanzado de 2.1 mega pixeles (2,110,000 pixeles brutos), 3.14 bit DXP (proceso de señal digital de 14 bits), lente Carl Zeiss, pantalla rotativa LCD a color de 3.5" con panel sensible al tacto, visor a color, grabación 0 lux super nighth shot con modo a color, batería stamina, flash integrado inteligente PO UP, modo de película MPEG EX, función de fotografía digital con memory stick integrado, conversión de señal analógica a digital, zoom óptico de 10X, zoom digital de 120X, 14 i-Link, enfoque automático o manual, grabación de larga duración, programación de exposición automática, cargador y adaptador de corriente A/C.
12	7	Maletín para cámara de video marca SONY, modelo LCS-VA3, estuche blando para cámara, vinil color negro, con bolsas laterales para guardar batería, cargador, cables y otros accesorios, con cinta sujetadora.
13	7	Tripié marca SONY, modelo VCT-R640RM ligero y portátil, 1.00 máximo 3 etapas de aluminio, maletín o bolsa.
14	2	Set de iluminación marca Fesnel 300W (2), aletas (2), portamira (2), gasas sencillas (4), gasas dobles (4), foco FKW 300W (2), Fresnel 650W (2), aletas (2), foco FRK GE (2), tripiés (4), bolsa con accesorios (1), maleta de acarreo (1).
15	7	Micrófono marca Steren modelo micrófono de diadema (43 gramos), micrófono de solapa (22) gramos, transmisor (85 gramos), adaptador y pila de 9 volts, sensibilidad de 100 DB, respuesta en frecuencia de 20 a 15000 HZ, distancia efectiva de operación de 40 a 60 m, receptor de 15 cm de largo por 9 cm de ancho y 3.5 cm de alto, acabado en color negro.

RELACIÓN DE EQUIPO DONADO POR JICA

16	1	Tarjeta de memoria panasonic de 512 MB.
17	12	No Breack Marca American Power Conversión APC Smart-UPS 750 XL USB expandible
18	2	Hub marca Intellinet, Switches 10/100 de escritorio, de 16 puertos 10/100 Mbps Buffer 512 Kb.
19	5	Windows XP Professional Spanish UPG OLP NL AE (Licencia Académica),
20	6	Software Microsoft Office XP Pro Win 32 UPG OLP NL AE (Licencia Académica),
21	3	Software Macromedia, Inc. Director MX Mac Educativo Inglés.
22	3	Software Adobe Systems, Inc. Adobe Photoshop 7 Windows Español Académico.
23	1	Programa de cómputo ACAD PRO 2003 en español marca Windows (Microsoft Office Edición Profesional 2003).
24	1	Programa de cómputo Windows XP Profesional en español.
25	3	Software Macromedia, Inc. Studio MX 2004 Educativo WIN/MAC Inglés.
26	3	Software Pinnacle Studio Movie Box USB.
27	2	Software Antivirus Symantec Norton Antivirus 2003 VUP CD Win Español.



添付資料 3 日本国側供与機材

28	1	Servidor marca Hewlett Packard ProLiant ML350, Intel Xeon Processor 3.06 GHz/533 MHz-512 MB total PC2100 Registered ECC DDR SDRAM memory (1x512 MB), Integrated dual channel Wide-Ultra3 SCSI adapter samrt array 641 controller (RAID) included, 6 x 1" Hot pluggable hard drive bays, 36.4 GB pluggable ultra 320 SCSI 10,000 rpm Universal hard drive (1"), Compaq NC7760 Gigabit Auto Switching network controller (embedded), SmartStart& Insight Manager, warranty 3 year.
29	1	Windows 2003 advanced Server, active directory permite instalar replicas de medios, compatibilidad con el protocolo ligero de acceso a directorios, confianza entre bosques, almacenamiento remoto, compatibilidad con las redes de área de almacenamiento, utilidad de copia de seguridad, cluster Server, clusters de equilibrio de carga de red, clusters de servidor, servidor de impresión: compatibilidad con clusters, compatibilidad con 812.1X (red inalámbrica), compatibilidad con A TM, red privada virtual.

RELACION DE EQUIPO DONADO POR JICA

30	1	45 licencias de software antivirus para el servidor, proporciona protección de gran solidez y en varios niveles para Gateways de Internet, proporciona protección a servidores de correo electrónico y servidores de red, solución para proteger toda la red de virus, spam y otros contenidos no deseados, amplia compatibilidad con varias plataformas para servidores de red, protege la empresa en los niveles de Gateway de Internet, servidor de red, ofrece protección administrada para estaciones de trabajo y servidores de red, incluye protección de alto rendimiento de Gateway Web de mucho tráfico. Proporciona automatización avanzada y tecnologías para una rápida protección contra virus.
31	1	Router 4 ptos. LAN + Módem SMC. switch interno, velocidad real de 10/100 MBPS, conexión ADSL que permite conectar un módem externo o digital, servidor de impresión, cable preparado UTP CAT.5 5688 de 1.5 m de longitud.
32	1	Unidad de respaldo APC modelo Smart UPS 3000, autodiagnóstico de forma automática, regulación automática de tensión, indicador de fallas en el cableado de la instalación Smartlot incorporada, baterías intercambiables en funcionamiento, manejo inteligente de la batería, línea interactiva, medidor de la carga, indicador de sobrecarga, indicador de reemplazo de batería, autonomía escalable, salida de onda sinusoidal, software indicador led de estatus, baterías reemplazantes por el usuario, DC con software, cable RS-232 de señalización smart del UPS, manual del usuario.
33	1	100 licencias de firewall, marca Velociraptor ofrece seguridad de tipo empresarial, es capaz de proteger el Gateway de Internet y las subredes de las lans y wans corporativas, proporciona una conexión a Internet rápida y sólida, su avanzada tecnología de inspección de datos filtra el tráfico e integra proxis a nivel de aplicación, análisis de circuitos de red y filtrado de paquetes en la arquitectura del perímetro de seguridad, nuevas funciones Proxy para SMTP, HTTP y H323, inspección completa impiden los accesos no autorizados a las redes privadas, Velociraptor integra Symantec Enterprise VPN Proxysecured, incluye el más reciente es estándar avanzado de encriptación, proporciona un alto nivel de seguridad en la VPN, proporciona seguridad en el acceso remoto a las lans corporativas sitio-a-sitio, capacidad excepcional de administración desde una sola consola basada en interfaz gráfica, cable preparado UTP CAT.5 5688 de 1.5 m de longitud.

RELACION DE EQUIPO DONADO POR JICA

添付資料 3 日本国側供与機材

34	1	Equipo para capacitación a distancia de sala, punto a multipunto marca Aethra modelo Vega Star 512/M Set Top.
35	4	Equipo de capacitación a distancia de sala, multipunto marca Aethra modelo Vega Star Set Top.
36	1	Disco Duro para computadora marca Ultra 320 SCSI Hot Swap Modelo 286775-B22.
37	5	Televisor para capacitación a distancia, marca Sony, modelo KV34FS200
38	5	Mesa para televisor de 34"
39	10	Taladro Blanco
40	20	Multímetros
41	10	Sierra banco
42	100	Broca paquete/ferro
43	100	Broca p/ferro
44	20	Broca p/ferro
45	20	Broca p/ferro
46	20	Broca p/ferro
47	20	Broca p/ferro
48	20	Broca p/ferro

添付資料 4 研修教材

**MATERIALES DIDÁCTICOS DE LOS FORMADORES**

No.	CURSO	ESCRITOS	SOFTWARE	MATERIAL
1	Método de Elaboración de Materiales Didácticos para la Web	Manual de apuntes	MsProducer	Presentación del tema Letra Cápital de un procesador de texto
2	Método de Elaboración de Diapositivas Efectivas para la Capacitación	Manual de apuntes	en PowerPoint XP	Presentación de los Personajes de la Computación
3	Macromedia Flash Mx	Manual de apuntes	Flash Mx	Presentación del CIFORT
4	Fotografía y Video Digital para la Capacitación	Manual de apuntes	Pinnacle	Video del los componentes de un CPU

添付資料5 活動スケジュールおよび活用機材(結果)(2003.11~2005.1)

Actividades y equipos utilizados del CIDFORT (De noviembre de 2003 a enero de 2005)

Actividad	Etapas de actividad	Actividades						Observaciones	Equipos																	
		Fecha		Número de participantes	Total de días	Horas x día	Total de horas		1) Computadora SONY modelo PCV-RZ25M: 5	2) Computadora Laptop SONY modelo PCG-1	10) Impresora Laser marca HP: 2	15) Hd marca Intellinet Switches: 2	16) No Break (marca American Power Conversion): 12	17) Cálculo proyector marca Lumens modelo LM-97: 1	19) Duplicador a autónoma (quemadora) marca TEAC: 1	20) Cámara de video marca SONY modelo DCR-	24) Set de iluminación marca Fresnel 300W: 2	26) Servidor marca HP proLiant ML380: 1	29) Router 4 pto. LAN y Modem SMC: 1	30) Unidad de respaldo APC modelo Smart UPS: 1	32) Equipo para capacitación a distancia de sala: 1	33) Equipo para capacitación a distancia de sala	34) Televisor para capacitación a distancia: 5	37) Multímetro s: 20	11) Mouse marca Targus: 7	12) Cable I-Link marca Belkin: 6
<b>Curso 1: Método de Elaboración de Material Didáctico para la WEB</b>																										
SEDE: CECATI No. 124 (SONORA)		Difusión								No hubo difusión por ser curso local																
		Ejecución		2004/1/19	2004/1/23	17	5	8	40																	
		Evaluación		2004/1/22	2004/1/23	17	2	8	16	Desarrollo de un material																
SEDE: CECATI No. 118 (SONORA)		Difusión								No hubo difusión por ser curso local																
		Ejecución		2004/2/23	2004/2/27	15	5	8	40																	
		Evaluación		2004/2/26	2004/2/27	15	2	8	16	Desarrollo de un material																
SEDE: CIDFORT (HIDALGO)		Difusión		2004/6/1	2004/7/31							A través de internet www.dccfi.seil.mx														
		Ejecución		2004/8/2	2004/8/6	10	5	8	40	X	X	X:1	X:5	X	X	X										
		Evaluación		2004/2/26	2004/2/27	10	2	8	16	Desarrollo de un material																
<b>Curso 2: Macromedia Flash MX</b>		Difusión		2004/6/1	2004/8/31							A través de internet www.dccfi.seil.mx														
SEDE: CIDFORT (HIDALGO)		Ejecución		2004/6/7	2004/6/11	18	5	8	40	X	X	X:1	X:5	X	X											
		Evaluación		2004/6/10	2004/6/11	18	2	8	16	Desarrollo de un material																
SEDE: CIDFORT (HIDALGO)		Difusión		2004/6/1	2004/8/31							A través de internet www.dccfi.seil.mx														
		Ejecución		2004/6/28	2004/7/2	18	5	8	40	X	X	X:1	X:5	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
		Evaluación		2004/7/1	2004/7/2	18	2	8	16	Desarrollo de un material																
SEDE: CIDFORT (HIDALGO)		Difusión		2004/6/1	2004/8/31							A través de internet www.dccfi.seil.mx														
		Ejecución		2004/8/9	2004/8/13	19	5	8	40	X	X	X:1	X:5	X	X											
		Evaluación		2004/8/12	2004/8/13	19	2	8	16	Desarrollo de un material																
<b>Curso 3: Método de Elaboración de Dispositivos Efectivos para la Comunicación</b>		Difusión		2004/6/1	2004/7/31							A través de internet www.dccfi.seil.mx														
SEDE: CIDFORT (HIDALGO)		Ejecución		2004/7/26	2004/7/30	10	5	8	40	X	X	X:1	X:5	X	X											
		Evaluación		2004/7/29	2004/7/30	10	2	8	16	Desarrollo de una presentación																
SEDE: CECATI No. 37 (EDO. DE MEXICO)		Difusión								No hubo difusión por ser curso local																
		Ejecución		2004/7/26	2004/7/30	10	5	8	40																	
		Evaluación		2004/7/29	2004/7/30	10	2	8	16	Desarrollo de una presentación																
<b>Curso 4: Fotografía y Video Digital para la</b>		Difusión		2004/6/1	2004/7/31							A través de internet www.dccfi.seil.mx														
SEDE: CIDFORT (HIDALGO)		Ejecución		2004/7/19	2004/7/23	16	5	8	40	X	X	X:1	X:5	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
		Evaluación		2004/7/22	2004/7/23	16	2	8	16	Desarrollo de un video																

NOTA: En relación a las columnas de herramientas y el equipo con el indicador 37, todavía no se tiene un proyecto definido, sin embargo se tienen contemplados para el desarrollo de prototipos.

Con respecto a los equipos con los indicadores 15, 26, 46, 29, 30 y programa con el indicador 27 se utilizan para la administración de la red de todo el CIDFORT, así como los indicadores 28 y 31, con referencia a las licencias.

Los equipos con el identificador 16; 7 de ellos serán utilizados para otros equipos de cómputo.

Los accesorios con el identificador 11; 6 de ellos también serán utilizados para otros equipos de cómputo.

添付資料5 活動スケジュールおよび活用機材(結果)(2003.11~2005.1)

Equipos donados																																
Accesorios								Herramientas								Programa										Otros						
13)	14)	18)	21)	22)	30)	23)	25)	35)	46)	36)	38)	39)	40)	41)	42)	43)	44)	45)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	27)	47)	48)	28)	31)		
Maletín para Laptop marca Avemtes: 2	Memoria USB marca Kingston: 2	Pantalla de proyección marca Vision Visual modelo	Tarjeta de memoria: Panasonic: 21	Maletín para cámara de video marca SONY.	Unidad de respaldo AFC modelo Smart UPS: 1	Tripé marca SONY: 7	Micrófono marca Soren modelo micrófono de	Mesa para televisor de 34": 5	Disco duro para computador a marca Ultra: 1	Taladro Banco: 10	Sierra Banco: 10	Broca pagete/ferro: 100	Broca p/ferro: 100	Broca p/ferro: 20	Broca p/ferro: 20	Broca p/ferro: 20	Broca p/ferro: 20	Broca p/ferro: 20	Windows XP Profesional Spanish: 5	Software Microsoft Office XP: 6	Softwers Antivirus Symantec Norton: 2	Software Macromedia, Inc. Director MX: 3	Software macromedia, Inc. Studio MX: 3	Software Finnacle Studio Movie: 3	Software Adobe Systems: 3	Windows 2003 advanced server: 1	Office sp Prof. 2003 ver. Acad.	Windows XP Professional: 1	45 licencia de software antivirus para el servidor	100 licencia de firewall		
	X:1	X	X		X	X	X												X	X	X						X	X				
	X:1	X	X																X		X								X			
	X:1	X	X					X:2											X		X								X			
	X:1	X	X																X		X								X			
	X:1	X	X																X	X	X						X	X				
	X:1	X																														
	X:1	X																														
	X:1	X	X	X	X		X	X											X	X	X			X	X		X	X				

添付資料6 活動スケジュールと活用機材(計画)(2005.1~2005.12)

CENTRO DE INVESTIGACION Y DESARROLLO DE LA FORMACION PARA EL TRABAJO  
ACTIVIDADES Y EQUIPOS A UTILIZAR (ENERO A DICIEMBRE 2005)

Actividades										Equipos																									
Actividad	Objetivo(brevemente)	Meta(brevemente)	Etapas de actividad	Fecha			Número de participantes	Total de días	Horas x día	Total de horas	Observaciones	Equipos																							
				Inicio	Fin							1) Computador SONY modelo PCV-R222M	2) Computadora Laptop SONY modelo PCO-1	10) Empresa Laser marca HP-2	15) Mod. marca Intel/Intel Switches-2	16) No Break marca American Power Conversion-12	17) Caféin proyector marca Lumens modelo LM497-1	19) Duplicadora a láser marca (querador a)marca TEAC 1	20) Cámara de video marca SONY modelo DCR-... ..	24) Set de iluminación marca Fenel 300W-2	26) Servidor marca HP proLiant ML380 1	29) Router 4 pto. LAN y Modem SMC 1	30) Unidad de respaldo APC modelo Smart UPS 1	32) Equipo para capacitación en a distancia de sala 1	33) Equipo para capacitación en a distancia de sala	24) Televisor para capacitación en a distancia 5	37) Multimétricos 20	11) Mouse marca Targus 7	12) Cable Link marca Belkin 6	13) Maletin para Laptop marca Avenues 2					
Curso 1: Método de Elaboración de Dispositivos Efectivos para la capacitación	Establecer dispositivos efectivos empleando la metodología de las cuatro etapas y aspectos elementales en la organización de actividades	Capacitar al menos 30 instructores en el 2005	Difusión	2005/2/15	2005/3/9						A través de e-mail																								
				Ejecución	2005/3/14	2005/3/18	20	5	8	40		X	X	X 1				X 5	X	X									X 1				X 1		
				Evaluación	2005/3/17	2005/3/18	20	2	8	16				Desarrollo de una presentación																					
SEDE CIDFORT (HIDALGO)			Difusión	2005/3/14	2005/4/13						A través de e-mail																								
				Ejecución	2005/4/25	2005/4/29	20	5	8	40		X	X	X 1				X 5	X	X									X 1				X 1		
				Evaluación	2005/4/28	2005/4/29	20	2	8	16				Desarrollo de una presentación																					
Curso 2: Fotografía y Video Digital para la Capacitación	Desarrollar la habilidad sobre el uso y la aplicación de las herramientas, así como el manejo del software para su edición	Capacitar al menos 15 instructores en el 2005	Difusión	2005/4/18	2005/5/17						A través de e-mail																								
				Ejecución	2005/5/23	2005/5/27	20	4	8	40		X	X	X 1				X 5	X	X									X 1		X		X 1		
				Evaluación	2005/5/26	2005/5/27	20	2	8	16				Desarrollo de un video																					
SEDE CIDFORT (HIDALGO)			Difusión	2005/6/1	2005/7/30						A través de e-mail																								
				Ejecución	2005/8/8	2005/8/19	20	10	8	80				Se impartirá por primera vez con el contenido reestructurado de sus 3 cursos	X	X	X 1				X 5	X	X	X	X				X	X 1	X 2		X 1	X	X 1
				Evaluación	2005/8/18	2005/8/19	20	2	8	16				Desarrollo de un material Web																					
SEDE CIDFORT (HIDALGO)			Difusión	2005/10/10	2005/11/9						A través de e-mail																								
				Ejecución	2005/11/14	#####	20	10	8	80		X	X	X 1				X 5	X	X									X 1		X		X 1		
				Evaluación	2005/10/24	#####	20	2	8	16				Desarrollo de un material Web																					
Curso 4: Animación de páginas Web con Flash Mx	Elaborar una presentación, incorporando sonido y efectos visuales, que logren un impacto visual y profesional	Capacitar al menos a 20 instructores en 2005	Difusión	2005/5/22	2005/5/31						A través de e-mail																								
				Ejecución	2005/6/25	2005/6/30	20	5	8	40		X	X	X 1				X 5	X	X									X 1				X 1		
				Evaluación	2005/6/29	2005/6/30	20	2	8	16				Desarrollo de un material																					
SEDE CIDFORT (HIDALGO)			Difusión	2005/10/10	2005/11/9						A través de e-mail																								
				Ejecución	2005/10/17	#####	25	20	8	160		X	X	X 1				X 5	X	X									X 1		X		X 1		
				Evaluación	2005/8/11	2005/8/12	25	3	8	24				Desarrollo de un material Web																					

En la columna Equipo necesario con el identificador A se mencionan 8 equipos, pero el CIDFORT actualmente solo dispone de 2 cámaras, las otras 6 son propiedad del formador y/o participantes



機材利用状況

No.	Especificaciones de los equipos	メーカー名	数量	使用頻度	状態	備考
1	Computadora SONY modelo PCV-RZ25M .	SONY	5	A	A	
2	Computadora Laptop SONY Modelo PCG-V505GFP,	SONY	1	A	A	
3	Windows XP Professional Spanish UPG OLP NL AE	Microsoft	5	A	A	
4	Software Microsoft office XP Pro Win 32 Spanish OLP NL AE	Microsoft	6	A	A	
5	Software Antivirus Symantec Norton AntiVirus 2003 VUP CD Win Espafl		2	A	A	
6	Software Macromedia, Inc. Director MX Mac Edicativo inglés		3	A	A	
7	Software Macromedia, Inc.Studio MX 2004 Educativo WIN/MAC Inglés		3	A	A	
8	Software Pinnacle Studio Movie Box USB		3			
9	Software Adobe Systems, Inc. Adobe Photoshop 7 Windows Español Académico		3	A	A	
10	Impresora Láser marca Hewlett Packard de México Laserjet 1300N	Hewlett Packard	2	A	A	
11	Mouse marca Targus super mini optical mouse	Targus	7	A	A	
12	Cable I-Link marca Belkin components 6 FT IEEE 1394 Firewire 4PIN/6PIN 400 MBPS 28AWG ICE	Belkin	6	A	A	
13	Maletín para Laptop marca Avenues	Avenues	2	A	A	
14	Memoria USB marca Kingston's Data Traveler 2.0 de 256mb	Traveler	2	A	A	
15	Hub marca Intellinet, Switches 10/100 de escritorio, de 16 puertos 10/100 Mbps Buffer 512 Kb	Intellinet	2	A	A	
16	No Breack Marca American Power Conversion APC Smart-UPS 750 XL USB expandible	American Power	12	A	A	
17	Cañón proyector marca Lumens Modelo LM-97	Lumens	1	A	A	
18	Pantalla de proyección marca Vission Visual modelo DAP244	Vission Visual	1	A	A	
19	Duplicadora autónoma (quemadora) marca Teac, 1 a 7, CD-R 40x24 + CD-ROM 32X IDE	Teac	1	A	A	
20	Cámara de video marca Sony, modelo DCR-TRV75	SONY	6	A	A	
21	tarjeta de memoria panasonic de 512 MB		1	A	A	
22	Maletín para cámara de video marca Sony, modelo LCS-VA3	SONY	7	A	A	
23	Tripié marca Sony, modelo VCT-R640RM ligero y portátil	SONY	7	A	A	
24	Set de iluminación marca Fesnel 300 W	Fesnel	2	A	A	
25	Micrófono marca Steren modelo micrófono de diadema (43 gramos), micrófono de solapa (22 gramos), transmisor (85 gramos)	Steren	7	A	A	
26	Servidor marca Hewlett Packard ProLiant ML350	Hewlett Packard	1	A	A	
27	Windows 2003 advanced server		1	A	A	
28	45 licencias de software antivirus para el servidor		1	A	A	
29	Router 4 pto. LAN + Módem SMC		1	A	A	
30	Unidad de respaldo APC modelo Smart UPS 3000		1	A	A	
31	100 licencias de firewall, marca Velociraptor ofrece seguridad de tipo empresarial		1	A	A	



## 機材利用状況

No.	Especificaciones de los equipos	メーカー名	数量	使用頻度	状態	備考
32	Equipo para capacitación a distancia de sala, punto a multipunto marca Aethra modelo Vega star 512/M Set Top		1	A	A	
33	Equipo para capacitación a distancia de sala, punto a multipunto marca Aethra modelo Vega star Set Top		4	A	A	
34	Televisor para capacitación a distancia, marca Sony, modelo KV34FS200		5	A	A	
35	Mesa para televisor de 34"		5	A	A	
36	taladro banco		10	A	A	
37	multímetros		20	A	A	
38	sierra banco		10	A	A	
39	broca paquete/ fierro		100	A	A	
40	broca p/ fierro		100	A	A	
41	broca p/ fierro		20	A	A	
42	broca p/ fierro		20	A	A	
43	broca p/ fierro		20	A	A	
44	broca p/ fierro		20	A	A	
45	broca p/ fierro		20	A	A	
46	Disco duro para computadora marca Ultra 320	Ultra320	1	A	A	
47	Programa de cómputo ACAD PRO 2003 en español marca Windows	Microsoft	1	A	A	
48	Programa de cómputo Windows XP Professional en español	Microsoft	1	A	A	

添付資料8 人員配置

PERSONAL DEL CIDFORT

PUESTO	2000	2001	2002	2003	2004	2005 (programado)	2006 (programado)	2007 (programado)	2008 (programado)
Responsable del CIDFORT	1	1	1	1	1	1			
Asistente				1	1	1			
Responsable del Area Administrativa	1	1	1	1	1	1			
Almacenista			1	1	1	1			
Control de Ingresos Propios		1	1	1	1	1			
Control de Presupuestos Especiales			1	1	1	1			
Control de Subsidio Federal		1	1	1	1	1			
Inventarios	1	1	1	1	1	1			
Mantenimiento			1	1	1	1			
Recursos Humanos		1	1	1	1	1			
Servicios				2	2	2			
Velador				1	1	1			
Vigilante	1	1	1	1	1	1			
Responsable Area de Desarrollo de Material Educativo	1	1	1	1	1	1			
Formador y Desarrollador	2	2	2	3	3	3			
Responsable Area de Evaluación y Certificación	1	1	1	1	1	1			
Capacitador		3	4	4	1	1			
Evaluador				3	4	4			
Verificador Interno			1	1	2	1			
Responsable Area de Investigación y Capacitación	1	1	1	1	1	1			
Centro de Documentación			1	2	2	2			
Evaluación y Seguimiento	2	2	2	2	2	2			
Organización Logística	2	2	2	3	3	3			
Planeación e Investigación	2	2	1	5	5	5			
Responsable Area de Sistemas		1	1	1	1	1			
Soporte Técnico		2	2	2	2	1			
Desarrollo de Sistemas			1	1	1	1			

NOTA: En los casos de los años 2006, 2007 y 2008 no podemos programar, debido a que la asignación de personal depende de la Dirección General de Centros de Formación para el Trabajo.

添付資料9 予算配置

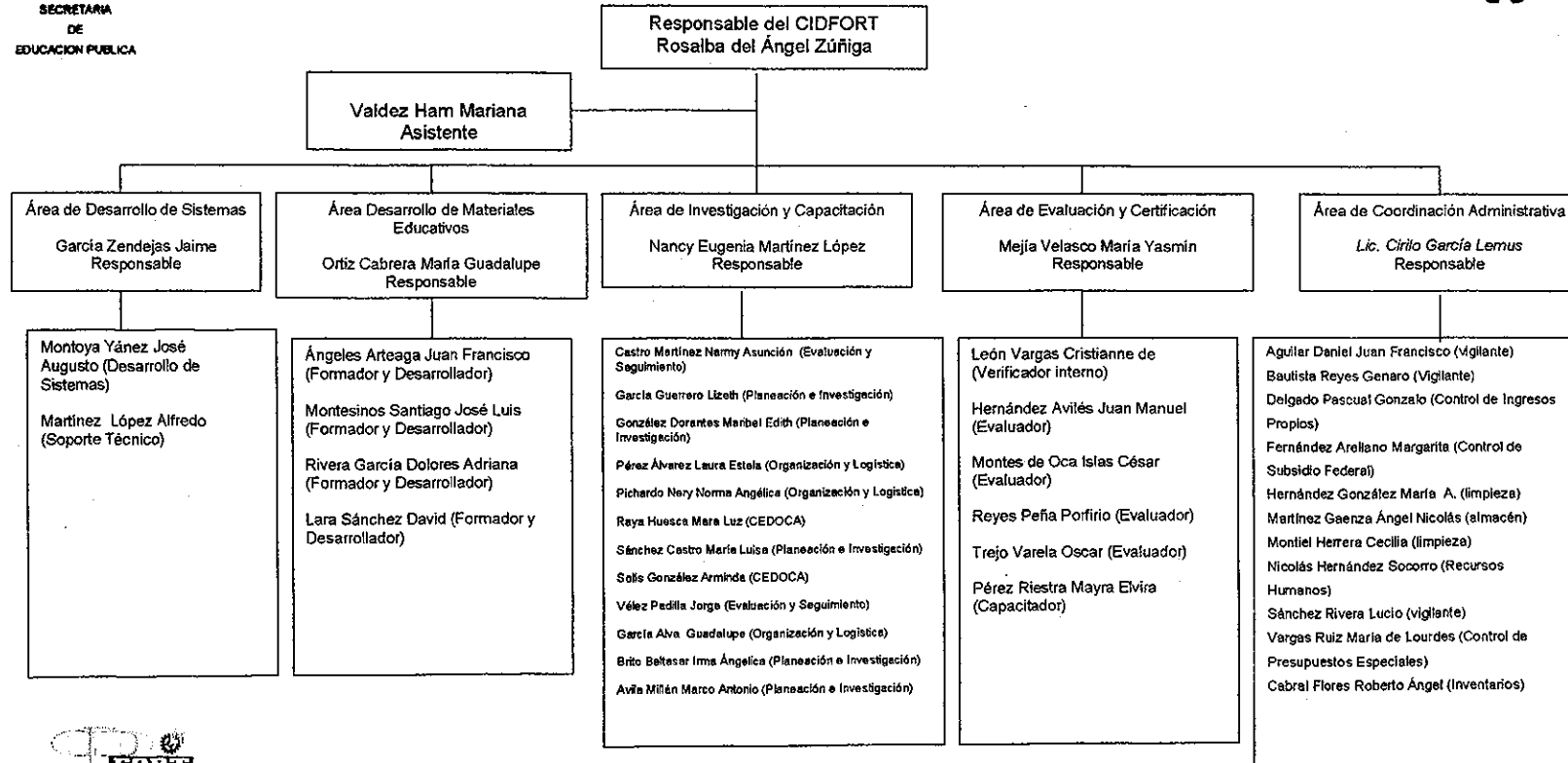
PRESUPUESTO DEL CIDFORT

	2000	2001	2002	2003	2004	2005 (PROGRAMADO)	2006 (PROGRAMADO)	2007 (PROGRAMADO)	2008 (PROGRAMADO)	ACUMULADO
<b>CANTIDAD</b>	\$ 1,815,637.00	\$ 1,615,637.00	\$ 1,414,804.00	\$ 730,207.00	\$ 979,004.00	\$ 803,227.70	\$ 883,550.47	\$ 971,905.52	\$ 1,069,096.08	\$ 10,083,068.77
<b>FUENTE</b>	PRE-FED	PRE-FED	PRE-FED	PRE-FED	PRE-FED	PRE-FED	PRE-FED	PRE-FED	PRE-FED	\$ -
										\$ -
<b>CANTIDAD</b>	\$ -	\$ 2,755.00	\$ 213,741.71	\$ 445,285.99	\$ 650,560.10	\$ 715,616.11	\$ 787,177.73	\$ 865,895.51	\$ 952,485.07	\$ 4,633,517.22
<b>FUENTE</b>	ING-PRO	ING-PRO	ING-PRO	ING-PRO	ING-PRO	ING-PRO	ING-PRO	ING-PRO	ING-PRO	\$ -
										\$ -
										\$ -
<b>TOTAL</b>	\$ 1,615,637.00	\$ 1,618,392.00	\$ 1,628,545.71	\$ 1,175,492.99	\$ 1,629,564.10	\$ 1,518,843.81	\$ 1,670,728.20	\$ 1,837,801.03	\$ 2,021,581.15	\$ 14,716,585.99

**DIRECCION GENERAL DE CENTROS DE FORMACION PARA EL TRABAJO  
CENTRO DE INVESTIGACIÓN Y DESARROLLO DE LA FORMACIÓN PARA EL TRABAJO  
ORGANIGRAMA DEL PERSONAL DEL CIDFORT**



SECRETARÍA  
DE  
EDUCACIÓN PÚBLICA



アンケート回答まとめ(CIDFORT職員)

Comentarios	1. ¿El Proyecto de JICA favoreció a sus actividades?	2. ¿Fue útil el equipo donado?	3. ¿Observó algún impacto directo del proyecto?	4. ¿Observó algún impacto indirecto?	5. ¿Podría sustituir sus actividades?	6. ¿Hay algún apoyo por parte de los gobiernos?	7. ¿Cuál es la función y el papel de CIDFORT?	8. Comentarios
1	Favorizó en forma indirecta y además ayudo a cubrir necesidades primordiales para que el centro pudiese dar el servicio como es debido a los CECATI	Si por que tuvimos participación en cuanto a colaboraciones y fue un trabajo en conjunto con el Area de Investigación y Capacitación.	Como Area administrativa, lo podemos ver reflejado en la urgencia de adaptar el aula taller para evitar que las actividades del Area de Desarrollo de Materiales Educativos se vean afectadas.	Se ha mejorado la atención y se refleja en las solicitudes por parte de los instructores para venir a tomar cursos a CIDFORT, pero aun no estamos en condiciones de atender a un gran número de instructores.	Considero que si por ser tecnología de vanguardia, aunque quien realmente lo va de terminar es el personal que trabaja directamente con los equipos.	Con el programa de apoyo "paso a paso" el gobierno federal y el gobierno estatal donan un peso cada uno para realizar las obras que son requeridas por los planteles en el estado, de esta forma se va logrando el laboratorio de Desarrollo de Materiales Educativos, que aunque se lenta la gestión, es la única forma de lograr estos apoyos.	Sirve a las empresas como un enlace más para la colocación de nuestros egresados de CECATI en el sector productivo.	
2	SI, AL SER EL AREA RESPONSABLE DE LA ACTUALIZACIÓN DOCENTE CON EL ING. SHIGEMI HIRAMATSU PRIMERAMENTE SE TIPO UN ACERCAMIENTO PARA DESARROLLAR EL CURSO: "DESARROLLO DE MATERIAL DIDACTICO PARA LA WEB" QUE FUE EL CURSO PIONERO PARA DETECTAR NECESIDADES DE EQUIPAMIENTO Y POSTERIORMENTE EL PODER PROPONER UN CURSO A NIVEL INTERNACIONAL POR LA EXPERENCIA ADQUIRIDA	SI YA QUE ES EQUIPO DE PUNTA, Y CON EL SE APOYA LA CAPACITACION DE DOCENTES. ADEMÁS UNA VEZ CAPACITADOS LOS DOCENTES YA SE PUEDE PONER EN MARCHA LA ETAPA DE DESARROLLO DE MATERIAL DIDACTICO	SI EN CONTAR CON EQUIPO PARA LA CAPACITACION, ESTAR EN POSIBILIDADES DE PODER PROPONER UN CURSO QUE TENGA IMPACTO INTERNACIONAL Y DESARROLLAR MATERIAL DIDACTICO.	DETECTAR MAS NECESIDADES DE EQUIPAMIENTO, DESARROLLAR UNA PROPIUESTA DE ESTRUCTURA PARA LA INSTALACION DEL EQUIPO. PROPONER UN PROYECTO DE USO DE EQUIPO	SI CON TODO LO ANTES MENCIONADO.	SI COMO EL PROGRAMA PESO A PESO POR PARTE DEL GOBIERNO DEL ESTADO DE HIDALGO QUE CON ELLO SE HA PODIDO CONSIDERAR INFRAESTRUCTURA Y EQUIPO.	EN EL CASO DE LA CAPACITACION DOCENTE, ES ACTUALIZARLOS EN LOS ASPECTOS TECNICOS Y PEDAGOGICOS REQUERIDOS. CAPACITARLOS EN LA TECNOLOGIA DE PUNTA Y FORMARLOS EN LA COMPETENCIA REQUERIDA. LO ANTERIOR REPERCUTIRA EN LA FORMACION DE LOS CAPACITANDOS, YA QUE SON ELLOS LOS QUE ESTARAN INMERSOS EN EL AMBITO LABORAL. CAPACITANDO CON CALIDAD, NUESTROS TRABAJADORES SERAN DE CALIDAD.	EL APOYO BRINDADO POR PARTE DE JICA SIEMPRE HA SIDO DE GRAN AYUDA PARA MEXICO NO SOLO CON DONACIONES, SINO CON EXPERENCIA Y CONOCIMIENTO.
3	Si, en el desarrollo y participación de diferentes cursos.	Por supuesto, la donación de equipos de tecnología de punta y de lo más actual ayuda en el desarrollo diario de mis actividades.	Si, en la forma de trabajo y el desarrollo de diferentes materiales educativos	En la adaptación de un aula taller para su instalación	Si, facilitar el trabajo y ayudar al desarrollo de diferentes materiales educativos.	Pues a veces la parte del presupuesto es el que llega a detener o atrasar los proyectos.	Pues sería muy bueno ayudar a desarrollar capacitaciones sobre el tipo de capacitación que requieren para su personal, así mismo proporcionar dicha capacitación.	Me pareció muy interesante y satisfactoria la presencia de personal de JICA en el CIDFORT y me gustaría que se siguiera dando una colaboración entre ambos.
4	SI, YA QUE LAS LOGISTICAS Y MEJORAMIENTO SOBRE DIVERSAS METODOLOGIAS. NOS DAN UN PANORAMA DIFERENTE Y GENERA BUENOS RESULTADOS AL APLICARLOS, PODEMOS MENCIONAR ENTRE ESTOS AL "PROTS", A "SOL 5's", ENTRE OTROS. ES PRECISO SEÑALAR QUE PARTIENDO DE ESTAS NUEVAS METODOLOGIAS, EL APOYO SE AMPLIA EN LA ADQUISICION DE EQUIPOS MODERNOS QUE SON APPLICABLES EN VARIOS AMBITOS SOBRE EL DESARROLLO DE LA CAPACITACION.	SI, YA QUE SON EQUIPOS MODERNOS Y DE MUY BUENA CALIDAD, AUNQUE EN ALGUNOS CASOS SE DEBIO CONTEMPLAR LA CANTIDAD DE USUARIOS QUE LE DARAN USO, PARA PERSONALIZAR SU USO.	SI, YA QUE EN EL DESARROLLO DE CURSOS, SE UTILIZAN LOS EQUIPOS Y TECNICAS TRANSMITIDAS.	SI, YA QUE EL HECHO DE CONTAR CON PERSONAS EXTRANJERAS (JAPON), NOS PROMUEVE UN INTERCAMBIO CULTURAL EL CUAL ES DIRECTO. ADEMÁS PRACTICAMOS EL IDIOMA INGLÉS LO QUE NOS RETROALIMENTA.	SI, YA QUE SON EQUIPOS NUEVOS Y DE VANGUARDIA, POR LO QUE SU USO PUEDE SER UTIL HASTA EL MEDIANO PLAZO.	SI, CON EL PROGRAMA A PESO A PESO DEL GOBIERNO ESTATAL DE HIDALGO	DESDE LUEGO MEJORAR SUS SERVICIOS INTERNOS DE CAPACITACION, OPERCIENDO SUS SERVICIOS Y PROMOVENDO LA APLICACION DE LAS TECNICAS ENSEÑADAS.	EL INTERCAMBIO Y TRANSMISION DE METODOLOGIAS DE JICA, SON ADAPTABLES EN NUESTRO AMBITO QUE ES LA CAPACITACION PARA EL TRABAJO.
5	Si favoreció debido a que al contar con los elementos necesarios para impartir los cursos para desarrollo de materiales didácticos, no hay necesidad de estar improvisando para cumplir con el objetivo general del curso.	Desde luego ya que la elección de los equipos fue totalmente hecha por personal del CIDFORT con asesoría del Ing. Hiramatsu	Puntualmente se va observando el impacto ya que esta labor no solo compete al CIDFORT, se requiere de la participación de los CECATI para que pueda trascender.	Si, he observado que este proyecto es de mucho interés para personas que no pertenecen a la institución como tal ya que es algo novedoso y puede ser de mucha utilidad para sus actividades.	Por un tiempo si, los equipos llegan a ser obsoletos después de algún tiempo y también el software para la creación de materiales.	Desde luego que no pero es una problemática que vive el país y no puede responsabilizarse a una institución por no dar el apoyo suficiente para los programas de desarrollo de sus dependencias.	Debe ser una institución que investigue cual es la tendencia en cuanto a capacidad de los CECATI, con este enfoque.	Agradecer el apoyo de JICA por el experto (Sr. Hiramatsu) y que gracias a él es logro la donación de equipo como el que tenemos ya que es muy útil (tal que una institución de gobierno tenga equipo con estas características.
6	En el desarrollo e impartición de 2 cursos (Método de Elaboración de Diapositivas Efectivas para la Capacitación y Fotografía y Video Digital para la Capacitación) dirigido a instructores con la finalidad de que ellos trabajen su propio material didáctico a partir de su experiencia como docente y en dominio de su especialidad. A la revisión y multiplicación de prototipos didácticos que participan los instructores de diversas especialidades, con el fin de coadyuvar el proceso enseñanza-aprendizaje. A la edición de videos como material didáctico A la impartición del taller seminario Método de Elaboración de Materiales Didácticos para Web	Si, porque el Ing. Shigemitsu Hiramatsu realizó un estudio en la detección de las necesidades de equipamiento, para continuar con los proyectos del área y por ende las actividades del CIDFORT.	Permitir la impartición de cursos y la elaboración de materiales didácticos por parte de los instructores de diversas especialidades, todo en aras de elevar la calidad de los servicios de nuestro servicio educativo.	Que otras instituciones de gobierno están interesadas poner los materiales didácticos que realizan los instructores en internet, con el fin de promover la capacitación con el fin de reducir el rezago educativo en el país.	Si, porque el equipo que fue donado es alta tecnología considerando las necesidades de nuestro servicio educativo.	Únicamente con el programa peso a peso del gobierno del estado, se apoya en la construcción y equipamiento al CIDFORT, ya que con la DOCT es más el apoyo al recurso humano y de los materiales que se utilizan para impartición de cursos y de consumo.	El papel del CIDFORT es de atender las necesidades que demanda el sector productivo, y para ello promueve la capacitación a sus instructores con el fin de que estos estén mejor preparados en la impartición en el proceso enseñanza-aprendizaje y que los egresados de los CECATI sean competentes para ocupar un puesto en el mismo.	El apoyo de JICA favoreció en muchas de las actividades del CIDFORT, lo cual nos impulsa a prestar un servicio con calidad.
7	Derivado de que Ing. Shigemitsu Hiramatsu, propuso la impartición del curso "Método de Elaboración de Materiales Didácticos para Web", observo la necesidad de equipamiento para su impartición, motivo por el cual gestiono la donación de equipos para el mismo, así como para la elaboración de materiales didácticos con diversos softwares.	Si, ya que es un equipo de alta tecnología en el mercado que permite el desarrollo e impartición de cursos enfocados al desarrollo de materiales didácticos. Así como el equipo de videoconferencia que favorece mucho en el ahorro de gasto de traslado del personal a otra entidad para promover la impartición de cursos y la certificación a instructores.	Si, el de desarrollar cursos para instructores que permitan mejorar su función docente y estar mejor preparados para atender las necesidades del sector productivo, ya nuestra misión es conocer y mejorar la calidad de los servicios que ofrece los CECATI	El de realizar una gestión para la adecuación de un aula taller por parte del Gobierno del Estado de Hidalgo, en donde se instalen el equipo donado, el reconocimiento de la impartición de cursos con el uso de una tecnología de punta por parte de los CECATI, así como generar más proyectos que promuevan el uso del mismo.	Si, porque con equipos alta tecnología y eso permite desarrollar más proyectos en las diferentes Áreas, con fines de impulsar cambios y transformaciones que exige los tiempos actuales de nuestro país.	La DOCT apoya con recurso federal, sin embargo con el apoyo de Gobierno Estatal de Hidalgo y de instituciones como JICA, han permitido que este Centro realice y mejore sus servicios, impulse y promueva cursos de capacitación a instructores con calidad.	Que la capacitación a docentes sean enfocados a las necesidades reales del sector productivo, ya que nuestros instructores impartirían su función con calidad y nuestros capacitandos estarían competentes en la ocupación de un puesto laboral y por ende permitir el aumento de la demanda de nuestro servicio.	El agradecimiento a JICA por el apoyo brindado, no solo con donación sino con sus expertos en nuestro sistema educativo.
8	Si, ya que se han donado equipo necesario para el desarrollo de proyectos en el área de sistemas, mismos que han sido posible realizar gracias a que ya se cuenta con dicho equipo. Por mencionar algunos equipos donados tenemos un servidor, una fuente de alimentación, software, etc.	Si, ya que se entrego una lista de necesidades y esta fue cubierta al 100%	Si, Retallo en gran medida la importancia que tiene el CIDFORT como institución educativa.	Si, Gracias al uso del equipo de videoconferencia donado por JICA, fue posible dar a conocer al CIDFORT en otros países tales como España y Colombia, mismos con quien se tuvo un enlace de videoconferencia a través de Internet.	Si, ya que estos han sido punto clave para el buen desarrollo de la mayoría de las actividades que en el CIDFORT se realizan	Es más el apoyo por parte de JICA que de las instituciones locales.	Pues sobre todo impulsar los planes de estudio que se ajusten más a las necesidades reales de las empresas, para que de esta manera sea mayor la demanda de los egresados de los CECATI.	Yo creo que en la medida que JICA se siga apoyando al CIDFORT, mayor será el crecimiento de éste en la vanguardia de la tecnología, ya que éste crecimiento ha sido en gran medida gracias al apoyo de instituciones y organismos, tales como JICA.

